令和３年度　事業報告書

社会福祉法人 東松島市社会福祉協議会

Ⅰ　基本方針　【総　括】 4

Ⅱ　重点事業 4

Ⅲ．事業実施項目 7

１．地域福祉事業拠点区分 7

(1)法人運営事業 7
①理事会の開催 7
②評議員会の開催 8
③監事監査 9
④支部長会議の開催 9
⑤賛助・特別会員の加入促進 9
⑥組織マネジメントの強化 9
⑦「社協・生活支援活動強化方針」等の職員の共通理解の促進 11
⑧地域福祉推進のための人材基盤強化策の実施 11
⑨コロナ禍における情報通信環境の整備 11
⑩新型コロナウイルス感染対策の強化 11
⑪その他 11

(2)地域福祉推進事業 14
①東松島市地域福祉推進計画の推進(市との共同事業) 14
②支え合い活動基盤整備事業 15
③地域の相談拠点づくり事業(ゆったりサロン) 15
④ふれあいサロン活動推進事業 15
⑤地域見守り事業の推進(住民支え合いマップ・シルバーメイト事業) 18
⑥福祉のまちづくり支援事業の実施 19
⑦自治協議会(福祉部会)や市民センターとの連携の推進 19
⑧ノーマライゼーション普及事業の実施 20
⑨特別支援学級への学用品等支給事業 20
⑩子ども・若者の居場所づくり支援事業 20
⑪心のケア促進事業(被災者サポート事業より移行) 20
⑫東松島市民生委員児童委員協議会の事務支援 21
⑬各種福祉団体の事務支援 21
⑭社福法人・社協連携による「地域における公益的な取組」の推進 22
⑮情報発信力の強化 22
⑯災害時生活支援体制の整備 23
⑰社会福祉大会の開催 24
⑱一人暮らし学生応援プロジェクト 26
⑲防災・地域交流推進のためのテント配分事業 26

⑳東日本大震災復興支援活動の経験の伝承 26
㉑社協事業を通じたＳＤＧｓの推進 26

(3)生活支援体制整備事業(市委託業務) **26**
①生活支援体制整備事業 26

(4)地域介護予防事業(市委託業務) **30**
①介護予防把握事業 30
②介護予防普及啓発事業 31
③地域介護予防活動支援事業 32

(5)共同募金事業(共同募金配分金による事業) **33**
①東松島市共同募金委員会の運営 33
②共同募金一般配分事業の実施 35
③歳末たすけあい配分事業 35
④ボランティア登録団体助成事業 36
⑤総合的学習支援事業 36

(6)ボランティアセンター事業 **37**
①地域福祉・ボランティア活動へのきっかけづくり 37
②ボランティア・市民活動センター機能の充実 37
③生活支援ボランティア活動の事業推進(ひがまつあんしんサポート事業) 40
④高校生ボランティア創出事業 41

(7)老人福祉センター運営事業(市委託業務) **42**
①東松島市老人福祉センターの指定管理 42
②老人福祉センター自主事業(各種交流事業)(コロナ・中止) 43

２．総合相談事業拠点区分 **44**

(1)生活困窮者自立促進支援事業(市委託業務) **44**
①自立相談支援事業と家計相談支援事業 44
②家計相談支援事業（東松島市からの受託） 54
③就労準備支援事業（東松島市からの受託） 54
④生活困窮者の共助の基盤づくり事業(フードドライブの周知と連携) 55
⑤「参加支援」推進のための連携・協働する場の整備 55
⑥金銭教育プログラムの実施 55
⑦生活用品等支援事業(緊急を要する要援護者への物品給付)の実施(自主事業) 56
⑧火災見舞金支給事業の実施(自主事業) 56

(2)多機関の協働による包括的支援体制構築事業(市委託業務) **57**
①多機関の協働による包括的支援体制構築事業 57
②包括的な支援体制づくりのための連携・協働する場の整備 59
③福祉なんでも相談窓口事業 62
④部門間横断の相談支援体制づくり 63
⑤行政との「パートナーシップ」の醸成 64
⑥その他 64

(3)生活福祉資金貸付事業(県社協委託業務) **65**

①生活福祉資金貸付事業の実施 65
(4)生活安定資金貸付事業 65
①生活安定資金貸付事業の実施 65
②一時援護資金貸付事業の実施 65
(5)日常生活自立支援事業(県社協委託業務) 65
①日常生活自立支援事業(まもりーぶ)の実施 65
(6)生活復興支援資金貸付事業(県社協委託業務) 66
①生活復興支援資金貸付事業の実施 66
②新型コロナウイルス対応生活福祉資金特例貸付事業の実施 66

３．在宅介護事業拠点区分 68

(1)訪問介護事業 68
①訪問介護事業(介護保険サービス) の実施 68
②訪問介護事業(障害福祉サービス) の実施 68
③訪問介護事業(産前産後ヘルパー事業)の実施 68
(2)居宅介護支援事業 69
①居宅介護支援事業の実施 69
(3)新型コロナウイルス感染対策の強化(在宅介護事業共通) 69
①新型コロナウイルス感染対策の強化 69

４．被災者支援事業拠点区分 70

(1)被災者サポートセンター運営事業(市委託業務) 70
①寄り添い型被災者生活支援の実施 70
②復興支援ボランティアの受け入れ調整と派遣(コロナ・中止) 72
③その他 72

５．地域包括支援センター事業拠点区分 73

(1)地域包括支援センター事業(市委託業務) 73
①包括的支援事業 73
(2)介護予防支援事業 78
①介護予防ケアマネジメント 78
②指定介護予防支援 78
(3)その他 78

Ⅰ　基本方針　【総　括】

令和２年初頭に始まった新型コロナウイルス感染症の世界的大流行から２年が経過しましたが、変異株の度重なる出現によりいまだにその収束は見通せない状況にあります。感染抑制の取り組みによる社会経済活動の制限が長期化する中、休業や失業などによる収入の減少、住居の維持の困難化など、生活に困窮する人びとの急増、孤立・孤独問題の深刻化など、複雑かつ多様な生活・福祉課題を顕在化させることとなりました。特にパートやアルバイト等非正規雇用にある若者、ひとり親世帯、外国人など生活基盤が脆弱であった人びとはより厳しい影響を受けることとなりました。

東松島市内においても陽性者が継続して増加し、本会職員にも感染者や濃厚接触者、またはその疑いのある職員が発生するなど、常に感染リスクを意識しながら事業実施の判断を迫られる状況が続いています。

令和 3 年度はこのような中、本会では、生活の困りごとを抱えて支援を必要とする人々や地域における住民主体の福祉活動を支えるため、事業計画に掲げた重点事業５項目を中心に、感染予防対策に工夫を講じながら、事業・活動を展開しましたが、一部事業においては、実施方法の変更や縮小、延期、さらには中止を余儀なくされました。

重点事業への取組み状況は次のとおりです。

Ⅱ　重点事業

１　コロナ禍における地域福祉活動の展開

地域団体が自主運営する「いきいき百歳体操実施サークル」において、宮城県の「緊急特別要請」期間中は活動を自粛した団体が一部ありました。継続意向を示した団体には、感染予防対策をしっかり講じることができるよう、啓発チラシを作成・提供しながら支援を続けて参りました。また、サークル代表者会議を市内５カ所に分散開催するなど、感染拡大防止とつながりの継続をめざし、工夫を凝らし開催しました。

その結果、各サークルにおいては感染予防対策への意識向上と一部サークルにおいては、見守り訪問活動に取り組む事例も生まれてきました。反面、コロナ禍を契機として活動を中止するサークルもいくつか見られ、コロナ禍の地域課題として顕在化してきました。

相談支援分野においては、前年度に引き続き生活困窮者の相談件数の大幅な増加が見られました。令和３年度は生活困窮者自立促進支援事業の委託契約の更新にあたり、国庫補助対象の相談支援員の１名減員となりましたが、自主財源により社会福祉士１名の加配を行い、コロナ禍で増大する相談件数に対応できる人員体制を維持しました。また、コロナ禍の生活支援として行われた生活福祉資金（緊急小口資金、総合支援資金）の特例貸付の数度にわたる期間延長に適切に対応し、コロナ禍で所得が減少した市民の生活再建支援に努めました。

２　重層的支援体制整備事業への参画

東松島市における重層的支援体制整備事業(以下「重層事業」という。)の今後の本格導入に備え、令和３年度は以下の取組を進めました。

重層事業の中核を担う多機関協働事業においては、個別ケース会議の開催や参加を通じて、単独の支援機関では対応が難しい複雑化・複合化した事例の調整役を担い、支援関係機関の役割分担や支援の方向性を定める事例の蓄積が進みました。このような中で、東松島市社会福祉法人連絡会６法人が協力して、制度の狭間にある市民の入浴や送迎支援を「地域における公益的な取組」として行うという、新たな実践事例も生まれました。

また、市全体で包括的な相談支援体制の構築を進めるため、地域包括支援センターや社協ＣＳＷが参加する多機関ネットワーク会議や災害公営住宅サポート担当者会議、地域支え合い会議、民生委員との情報交換会等の多様な会議の開催や参加を通じて、関係者間のネットワーク強化を図り、今後、重層事業に関わることが期待される関係者との関係構築に努めました。

参加支援に関しては、コロナ禍で車上生活や家族関係の問題、債務整理等に伴う住居喪失等の問題を抱える相談者が増えている現状を踏まえ、宮城県居住支援協議会（宮城県土木部主催）の協力を得て、東松島市居住支援部会を設置し、地域における住宅確保要配慮者の実態や住まいに関する課題について、行政や不動産会社、地域で活動している居住支援団体等との意見交換等を行い、今後の連携体制強化の基盤を作りました。しかし、参加支援において、居住支援と並んで重要な分野である就労支援の「連携・協働の場」づくりについては着手することができず、次年度に課題を残しました。

地域づくりについては、従来からの高齢者分野の小地域福祉活動の推進に加え、生活困窮者の共助の基盤づくり事業として、フードドライブの周知を積極的に行いました。市の地方創生・ＳＤＧｓ推進室の協力による市庁舎内でのフードドライブの実施や「復興感謝第１回東松島市産業祭」へのブース出展、自治会や第２層協議体等への説明を通じて、本市における生活困窮者の実態や食糧支援の意義等について、住民理解の促進を図りました。このような取組を受け、地域においては自治会や自治協議会、地域団体等が主体となって独自にフードドライブに取り組む事例が生まれてきています。

アウトリーチ等を通じた継続的支援については、単独の事業として取り組むのではなく、くらし安心サポートセンターや地域包括支援センターがアセスメントやプラン評価を通じて個別ケースごとにアウトリーチの必要性を確認しながら、相談者本人との信頼関係の構築に向けた支援を常に心がけて取り組みました。また、各種会議、関係機関とのネットワークや地域住民とのつながりを通じて、まだ支援が届いていない潜在的な相談者の把握に努めました。ＣＳＷが中心となり、相談支援包括化推進員が参画する地域支え合い会議の開催を通じて、専門機関がまだ把握できていない潜在的な相談者について、地域住民が日頃から気にかけている実態が明らかになり、この会議には潜在的な相談者の把握と専門機関への効果的なつなぎの機能が備わっていることについて、新たな発見がありました。

３　地域福祉を推進する基盤の見直し検討

社協内まるごと連携会議を設置し、本会各部署から選任した職員が社協支部を支援するあり方を調査・検討することに着手しました。全社協が策定した「市町村社協経営指針」（令和２年７月、第２次改定）に基づき、本会の支部を同指針における「地域福祉推進基礎組織」と位置付け、その活動を支援することが社協の役割であることについて改めて職員間で共通認識の形成を図りました。

より身近な圏域での地域福祉活動を推進するため、ＣＳＷが自治会役員等に働きかけて、自治会や行政区圏域の地縁組織において住民自らが地域課題を話し合う「地域支え合い会議」の立ち上げを進め、令和３年度末までに市内 22 カ所に設置されました。各地域の「地域支え合い会議」の主要な構成メンバーは、自治会長、民生委員、社協ＣＳＷ、相談支援包括化推進員、圏域の地域包括支援センター職員となっており、地域で見守りが必要な高齢者等の情報共有や支援の役割分担の確認、その他地域課題について共有する場となっています。この会議を通じて、参加者同士の顔の見える関係づくりが進み、さらに支援が必要な人の早期把握や住民と専門機関の円滑な連携等の具体的な効果が表れてきています。

また、生活支援体制整備事業業務等から得た地域の情報を共有し、支部と住民による支え合い活動がどのような関係性になっているのか、少子高齢化社会により地域活動の担い手が不足するなかでどのような支援があれば住民支え合い活動が継続されていくのかなど、検討課題の論点の整理などを行いました。年度内では、具体的な事業案まで到達することができなかったため、次年度も引き続き重点事業に位置づけることにしました。

4　自然災害への的確な対応と震災被災者の「心のケア」「風化防止」

近年、災害が頻発化・激甚化するなか、災害時福祉支援体制を更に強化する目的で、東松島市と本会の間で「災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」を締結しました。また、これに合わせ、災害ボランティアセンターの設置・運営マニュアルの改定を行いました。

震災被災者の「心のケア」については、被災者サポートセンター運営業務を通して、災害公営住宅の戸別訪問（対象 473 世帯）を通じ、個々が抱える生活課題の把握と相談機関へのつなぎに取り組みました。また、住民同士のつながりや生きがいづくりを目的とした「いきいき百歳体操」「ふれあいサロン」の支援、「フラワーアレンジメント教室」や音楽イベント「ジャズコンサート」などを開催し、心の復興の推進に努めました。

被災者サポートセンター事業については、被災者支援から地域福祉の推進へ体制移行する時期に入っており、令和 4 年度も事業規模が縮小となることが決まりました。そのため、生活支援相談員による個別訪問と並行し、民生委員や地域包括支援センターなど地域の身近な相談機関と地域生活課題等の情報共有を図って参りました。

「風化防止」については、記録誌制作の作業チームを立ち上げ、記録誌の制作目的や編集方針、構成の検討を行い、当時の関係職員からのヒアリング等を行いましたが、十分な作業時間の確保ができず、具体的な制作作業には至りませんでした。次年度に継続して取り組むこととしています。

5　ガバナンスの強化と適切な法人運営

評議員及び役員（理事・監事）の改選により、これまで社会福祉法人の評議員や役員の経験がない方も新たに選任されたことも踏まえ、社会福祉法人の運営に必要な基本的事項をまとめた「社会福祉法人の運営マニュアル～評議員・役職員等のために～」を作成し、社会福祉法人の役割や使命、各機関の役割と責任等について、評議員及び役職員の理解の促進を図りました。

また、監事監査を適正かつ円滑に行うため、監査の種別、実施内容、実施手順等を定めた監事監査規程及び監査すべきポイントを整理したチェックシートを作成し、職員による日常点検項目のマニュアル化の推進と監事の監査し易い環境づくりに努めました。

日常的な事務局運営においては、経営会議を毎月開催することにし、主要事業の進行管理と部門間の情報共有の促進を図りました。現場レベルにとどまっていた介護事業の経営状況についてもタイムリーに把握できるようになりました。

部門間、職員間の日常的な情報共有や業務効率に関する課題を解決するため、情報共有のＩＣＴ基盤となるシステム「kintone（キントーン）」の導入を行いました。法人全体で共有すべき事項に関する掲示板機能や会議報告書、相談支援業務の支援経過記録、ひがまつ安心サポート事業の予定管理、新型コロナウイルスに関する対応状況の共有など、システムを活用する業務領域を段階的に広げており、業務効率化や情報共有の時間短縮等の効果が表れてきています。

「経営指針」の策定については、年度中には着手することができなかったため、次年度において策定作業を進めてまいります。

Ⅲ．事業実施項目

１．地域福祉事業拠点区分

(1)法人運営事業

①理事会の開催

名称	時　期	議　題	出席者
第1回 通常	6月3日	議案第1号　令和2年度事業報告及び計算書類等の承認について 議案第2号　評議員及び役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部を改正する規程について 議案第3号　評議員選任・解任委員会運営規則の一部を改正する規則について 議案第4号　評議員選任・解任委員会の招集及び評議員選任候補者の推薦について 議案第5号　理事・監事選任候補者の推薦について 議案第6号　評議員選任・解任委員の選任について 議案第7号　令和3年度定時評議員会の招集について 【全議案原案可決】	理事 14人 監事 3人
第1回 臨時	6月24日	議案第8号　会長の選任について 議案第9号　副会長の選任について 議案第10号　事務局長の選任について 議案第11号　顧問の選任について 【全議案原案可決】	理事 13人 監事 3人
第2回 通常	11月19日	議案第12号　評議員選任・解任委員会の招集及評議員選任候補者の推薦について 議案第13号　令和3年度資金収支第1次補正予算について 議案第14号　監事監査規程の制定について 議案題15号　慶弔規程の制定について 議案第16号　臨時職員就業規則の一部を改正する規則について 議案第17号　災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定の締結について 議案第18号　令和3年度第1回臨時評議員会の招集について 【全議案原案可決】 報告事項　・会長の職務執行状況報告 ・監事の監査結果の報告	理事 13人 監事 3人
第2回 臨時	12月7日	議案第19号　「令和3年度　東松島市社会福祉功労者表彰式」の被表彰者の審査について 【全議案原案可決】	理事 13人 監事 3人
第3回 通常	3月17日	議案第20号　令和3年度資金収支第2次補正予算について 議案第21号　令和4年度事業計画及び資金収支予算について	理事 15人 監事

		議案第 22 号　(債)令和 3 年度被災者サポートセンター運営業務委託契約の締結について 議案第 23 号　(債)令和 3 年度生活支援体制整備事業業務委託契約の締結について 議案第 24 号　(債)令和 3 年度地域介護予防事業運営業務委託契約の締結について 議案第 25 号　役員等賠償責任保険契約の締結について 議案第 26 号　育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則について 議案第 27 号　東松島市社協生活復興支援センター設置規程の一部を改正する規程について 議案第 28 号　令和 3 年度第 2 回臨時評議員会の招集について 【「決議省略」全議案みなし可決】 ※3 月 16 日深夜に発生した福祉県沖地震の災害対応が見込まれたため、開催を中止。定款第 31 条の規定により、決議を省略し、書面により同意の意思表示及び異議の確認を行い、提案事項を可決する旨の決議があったものとみなした。 報告事項　・会長の職務執行状況報告 ・監事の監査結果の報告	3 人

②評議員会の開催

名称	時　期	議　題	出 席 者
定時	6 月 24 日	議案第 1 号　令和 2 年度事業報告及び計算書類等の承認について 議案第 2 号　評議員及び役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部を改正する規程について 議案第 3 号　理事・監事の選任について 【全議案原案可決】	評議員 16 人 監事 2 人
第 1 回 臨時	12 月 7 日	議案第 4 号　令和 3 年度資金収支第 1 次補正予算について 【全議案原案可決】	評議員 15 人 監事 3 人
第 2 回 臨時	3 月 25 日	議案第 5 号　令和 3 年度資金収支第 2 次補正予算について 議案第 6 号　令和 4 年度事情計画及び資金収支予算について 【「決議省略」全議案みなし可決】 ※3 月 16 日深夜に発生した福祉県沖地震の災害対応が見込まれたため、開催を中止。定款第 16 条の規定により、決議を省略し、書面により同意の意思表示及び異議の確認を行い、提案事項を可決する旨の決議があったものとみなした。	評議員 18 人

③監事監査

・令和２年度決算並びに令和３年度における理事の業務執行状況及び財産状況等の監査を実施した。

監査の種類	実施時期	内　　容	出　席　者
定期監査 決算監査	令和３年 ５月 20 日	・第４・四半期監査(1 月 1 日～3 月 31 日) ・令和２年度決算	会長、監事３人、事務局４人
定期監査	7 月 29 日	・第１・四半期監査(4 月 1 日～6 月 30 日)	会長、監事３人、事務局４人
定期監査	10 月 28 日	・第２・四半期監査(7 月 1 日～9 月 30 日)	会長、監事３人、事務局４人
定期監査	令和４年 1 月 27 日	・第３・四半期監査(10 月 1 日～12 月 31 日)	会長、監事３人、事務局４人

④支部長会議の開催

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議の開催(7 月予定)を中止し、各支部長へ書面資料を送付し、社協事業への協力を要請した。

送付資料：〇社協一般会費のお願いについて

〇福祉のまちづくり支援事業について

⑤賛助・特別会員の加入促進

・4 月の自治会長会議に出席し、一般会費の納入について依頼した。また特別会員については、8 月にダイレクトメール等により企業・団体に加入促進を図った。

会費の収納状況の推移　　(円)

種類	会費	令和３年度		令和２年度		増減	
		加入数	収納額	加入数	収納額	加入数	収納額
一般会員	1,200	11,211	13,452,400	11,078	13,293,600	133	158,800
賛助会員	3,000	38	113,000	33	98,000	5	15,000
特別会員	3,000	225	674,000	203	607,000	22	67,000

⑥組織マネジメントの強化

■令和３年度社会福祉施設等指導監査

・社会福祉法第 56 条第１項の規定により３年に１度の所轄庁(東松島市)による指導監査が令和４年１月 28 日の実施予定であったが、コロナ禍において、対面での監査を取りやめ、提出書類での審査で行われた。

・令和４年３月 31 日付で「改善を要する事項なし」の通知を受けた。

・また、所轄庁から、法人運営部門に関して以下の２点について、文書での助言があった。

〇長期貸付金の回収について、約束履行について適切に行われ始めているので、今後も管理されたい。

〇生活安定資金貸付金の未償還額について検討されているようだが、借受け人の調査・相談の実行についても適切に処理されたい。

■組織カバナンスの強化

・業務の意思決定の迅速化と経営効率の改善を推進するため、当分の間、常務理事業務を会長が担うこととし、会長の常勤化(令和3年7月1日から)を図った。

・費用弁償の改定を行った(900円⇒1,500円)

■諸規程の制定・改廃(令和3年6月～令和3年12月公布)

番号	規程名	公布日	施行日
第5号	評議員及び役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部を改正する規程	令和3年6月25日	令和3年7月1日
第6号	評議員選任･解任委員会運営規則の一部を改正する規則	令和3年6月25日	令和3年7月1日
第7号	監事監査規程	令和3年11月22日	令和3年12月1日
第8号	東松島市社会福祉協議会慶弔規程	令和3年11月22日	令和3年11月1日
第9号	臨時職員就業規則の一部を改正する規則	令和3年11月22日	令和3年12月1日

■各種手引書(マニュアル)の策定

・法人運営の共通理解と適正化を推進するため、下記の手引書(マニュアル)を作成し、評議員、役職員等に配布した。

①社会福祉法人の運営マニュアル～評議員・役職員等のために～(令和3年11月)

②東松島市災害ボランティアセンター運営の手引き(令和3年11月)

■不正着服事件にかかる弁済金(長期貸付金)の償還状況

・債権回収業務を弁護士に委託し、公正証書で定めた返済計画どおりの返済が行われた。

・令和3年4月から令和4年3月まで(①＋②)・・2,000,000円

(内訳)

150,000円×12月　＝　1,800,000円・・・・・・・①

100,000円×2回(4月、11月)＝　200,000円・・・②

(返済状況)　　令和4年3月末現在

	金額
長期貸付金の貸付総額	23,085,570円
前年度末の返済残額	9,830,570円
年度中の返済額	2,000,000円
年度末の返済残額	7,830,570円

■経営会議の開催

・事務局運営の基本方針、重要施策等を審議・決定するとともに、各部署相互の総合調整と情報共有のため毎月1回開催した。

・出席者：会長、事務局長、事務局次長、係長、所長等

①第1回経営会議　令和3年7月28日

②第2回経営会議　令和3年8月18日

③第３回経営会議　令和３年９月 15 日
④第４回経営会議　令和３年 10 月 20 日
⑤第５回経営会議　令和３年 11 月 17 日
⑥第６回経営会議　令和３年 12 月 20 日
⑦第７回経営会議　令和４年１月 17 日
⑧第８回経営会議　令和４年２月 21 日
⑨第９回経営会議　令和４年３月 28 日

⑦「社協・生活支援活動強化方針」等の職員の共通理解の促進

・社協内まるごと連携会議において、全社協が策定した「市町村社協経営指針」（令和 2 年７月 第２次改定）の内容を確認し、東松島市においては支部（自治会）が同指針における「地域福祉推進基礎組織」であることと、支部（自治会）における地域住民の主体的な福祉活動を支援することが社協の役割であることについて改めて職員間で共通認識の形成を図った。

⑧地域福祉推進のための人材基盤強化策の実施

受講者なし

⑨コロナ禍における情報通信環境の整備

・職員間のつながりを活性化する職場内ＳＮＳとしても活用できる情報共有ツール「kintone（キントーン）」を導入し、組織を横断した情報の共有に努めた。

⑩新型コロナウイルス感染対策の強化

・「新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」及び各種感染対策マニュアル等の遵守の徹底、3 回のワクチン接種、職員の体調管理について職員内でチームを編成し、感染状況の把握と対策に向けて対応を図った。

※職員の感染者…1 月 27 日（1 人）、2 月 4 日（1 人）

⑪その他

■評議員選任・解任委員会の開催

名　称	時　期	議　　題	出席者
第１回	6 月 14 日	議案第１号　評議員の選任について （新任 18 人）	委員４人
第２回	11 月 29 日	議案第２号　評議員の選任について （阿部守雄氏⇒橋本孝一氏）	委員５人

■正副会長会議の開催

開催時期：1 月 11 日
場　　所：老人福祉センター　集会室
協議事項：市内での新型コロナウイルス感染者発生に伴い「令和３年度東松島市社会福祉功労者表彰式」の開催方法等について協議し、集合型での式典開催を中止し、後日、表彰状等を自宅に配送することに決定した。
出 席 者：会長、副会長２名、事務局３名

■顕彰関係　（敬称略）

ア　全国社会福祉協議会会長表彰

・社会福祉協議会・民間福祉団体功労　鈴木敏正

〇令和3年度宮城県社会福祉大会（令和3年11月11日開催）において、下記の方々が受賞した。

イ　宮城県知事表彰

・社会福祉事業篤志奉仕者　宮川康夫

・社会福祉事業従事者　土居恵美子、木村智子、石垣久子、成沢さと子

ウ　宮城県社会福祉協議会会長表彰

・社会福祉協議会役職員功労　大山金雄、菊池昌三、阿部英一、佐藤康男、佐々木せい子

・優良企業表彰　（株）橋本道路、（株）木村土建

・ボランティアグループ功労　すずめの会、東松島民話の会「おさるのかごや」

エ　宮城県共同募金会会長表彰

・募金活動奉仕功労者　片岡健治、土井啓一、千葉純、平地富夫、菅原幸治、大山道保、中島和義、松川　浩、丹　隆義、齋藤文孝、豊島栄一、浅野悦郎、及川克彦、菅原　淳、瀬戸隆雄、佐々木彪、渋谷栄一、大崎隆良、佐藤静男、田中建治、佐々木豊

オ　宮城県共同募金会会長感謝状

・篤志寄附者　小池康裕

・篤志寄附団体　東松島ライオンズクラブ、ササキストア24

・募金活動奉仕功労者　櫻井けい子、佐々木正男、渡邉克己、伊澤義男

カ　宮城県障がい者福祉協会会長表彰

・更生援護功労者　大平友子

■寄附金品等の受納状況

・一般寄附金　　12件　517,215円

・震災対応寄附金　2件　63,742円

・フードドライブに利用　1件　100,000円（現金）　/　1件　100,000円（商品券）

・寄附物品・奉仕活動　23件

内容：①マスク（箱入り・手作り）②オムツ（紙・布）、パット③毛布・タオルケット④手作り雑巾⑤未使用切手・はがき⑥文房具一式⑦会議用名札入れ・ネームストラップ⑧衣類⑨ポータブルトイレ⑩タオル⑪みそ汁（フードドライブ）⑫布団・マットレス・座布団⑬トイレットペーパー・ティッシュBOX

■福祉機器貸与事業

・障害者又は高齢者等の日常生活を支援するため、福祉機器の貸与を行った。

貸与実績

車いすの貸与11人　（内　居宅介護・包括支援センター経由7人）

※小学校におけるキャップハンディ体験教室で車いすの使用

※コロナワクチン集団接種の際の車いすの貸出

■主な社会福祉等関連組織への参画(会長)

○　東松島市関係

ア　民生委員推薦会/委員(任期:令和3年7月1日～令和7年1月11日)

・令和3年8月2日開催(民生委員・児童委員の選任)

・令和4年1月12日開催(主任児童委員の選任)

イ　障害者総合支援協議会/会長(任期:平成3年4月1日～令和6年3月31日)

・令和3年度障害者総合支援協議会全体会(令和3年5月31日、書面審議)を招集し、令和3年度事業の進捗状況等について審議した。

ウ　「心の復興事業」補助金選定委員会/委員(任期:令和3年8月3日～令和4年3月31日)

・令和3年度「心の復興」事業補助金選定委員会(任期:令和3年6月1日)に出席し、補助金交付団体の選定のための審査を行った。

エ　震災義援金配分委員会/委員(任期:令和3年12月1日～令和3年12月1日)

・令和3年12月1日開催(最終回、解散)

オ　地域包括ケア推進会議/委員(任期:令和3年4月1日～令和6年3月31日)

・令和3年度第1回地域包括ケア推進会議(令和3年7月30日開催)に出席し、正副会長の選任、医療福祉サービス復興再生ビジョンの中間実績報告、評価を行った。

カ　東松島市地域公共交通活性化協議会/委員(任期:令和3年7月29日～令和5年3月31日)

・第2回地域公共交通活性化協議会(令和4年3月14日開催)に出席し、らくらく号の運行状況等について報告あり

○　宮城県社会福祉協議会関係

評議員選任・解任委員会/委員(令和3年6月28日～令和5年度に関する定時評議員会終結の時)

・第6回委員会(令和3年6月28日、ホテル白萩)に出席し、理事会で評議員候補者として選任した者(新任5人、再任17人)を選任した。

・第7回委員会(令和3年8月5日、ホテル白萩)に出席し、理事会で評議員候補者として選任した者(1人)を選任した。

・第8回委員会(令和4年1月25日、自治会館)に出席し、理事会で評議員候補者として選任した者(1人)を選任した。

○　全国社会福祉協議会関係

ア　地域福祉推進委員会/副委員長(任期:令和3年4月1日～令和5年3月31日)

・令和3年度総会(令和3年5月18日、オンライン会議)

・正副委員長会議

第1回　令和3年5月18日、総会終了後、オンライン

第2回　令和3年9月7日、オンライン

第3回　令和4年2月21日、オンライン

・常任委員会

第1回常任委員会(令和3年9月28日、オンライン会議)

第2回常任委員会(令和3年12月9日、オンライン会議)

第3回常任委員会(令和4年1月11日、法人内コロナ感染のため欠席)

第4回常任委員会(令和4年2月28日、オンライン会議)

イ　政策委員会・幹事会(任期:令和3年5月28日～令和5年3月31日)
・令和3年度総会(令和3年6月21日、オンライン会議)
・幹事会
第1回幹事会(令和3年4月22日、オンライン会議)
第2回幹事会(令和3年6月21日総会終了後、オンライン会議)
第3回幹事会(令和3年8月26日、オンライン会議)
第4回幹事会(令和3年10月4日、オンライン会議)
第5回幹事会(令和3年12月23日、オンライン会議)
第6回幹事会(令和4年2月24日、オンライン会議)

ウ　災害福祉支援活動の強化に向けた検討会(令和3年7月9日～令和4年3月31日)
第1回検討会(令和3年8月3日、オンライン会議)
(検討内容)
・災害福祉支援活動の強化に向けた検討会における論点(案)
・災害法制に位置付ける「福祉」について
第2回検討会(令和3年11月26日、オンライン会議)
第3回検討会(令和3年12月22日、対面会議)
第4回検討会(令和4年1月31日、オンライン会議)
第5回検討会(令和4年3月7日、オンライン会議)
・検討会報告書(案)について承認し、報告書作成に関しての微調整を会長及び事務局に一任することに決定し、検討会を終了した。

○　社会福祉法人 宮城県共同募金会関係
・宮城県共同募金会評議員(任期:令和3年10月22日～令和6年度に関する定時評議員会終結の時)
・第228回評議員会　令和3年12月15日(水)午後1時30分～仙台市宮城野区

(2)地域福祉推進事業
①東松島市地域福祉推進計画の推進(市との共同事業)
■市担当者との打ち合わせ実施(10月12日)
・第2期地域福祉推進計画で計画した事業・活動の進捗状況及び令和5年度から開始する次期計画の共同策定のスケジュール、行政との役割分担、予算措置等について、それぞれの担当者間での打ち合わせを行った。
・再犯防止推進計画加速化プラン(令和元年12月23日犯罪対策閣僚会議決定)に基づき、市町村に対し地方再犯防止計画の策定が努力義務化されことに伴い、次期地域福祉推進計画に包含することを検討することにした。
■再犯防止等の推進に関する勉強会への参加
・10月22日、市が主催した「再犯防止等の推進に関する勉強会」に本会総務課福祉総合相談支援係職員と地域福祉課職員が参加した。法務省仙台保護観察所職員から再犯防止推進法や地方再犯防止推進計画策定の意義についての講義を受けた。
■ワーキンググループ会議の開催
・8月及び3月に予定していたワーキンググループ会議は、コロナ禍のため集合型での開催が難しいことにより開催を中止した。
■地域福祉推進委員会の開催
・8月及び3月に予定していた地域福祉推進委員会は、コロナ禍のため集合型での開催が難しいことにより開催を中止した。

②支え合い活動基盤整備事業

■社協内まるごと連携会議の開催(令和3年度計7回開催)

・社協支部が抱える課題は何か、社協は支部にどのような支援ができるのか、支部と住民による支え合い活動がどのような関係性になっているのか、少子高齢化社会により地域活動の担い手が不足する中でどのような支援があれば、住民支え合い活動が継続されていくのかなど、検討課題の論点の整理などを行った。

・具体的な事業案まで到達することができなかったため、次年度も引き続き検討を継続することにした。

■小地域(自治会及び行政区等)での地域支え合い会議の開催及び参加

・より身近な圏域での地域福祉活動を推進するため、自治会や行政区圏域の地縁組織を単位とした話し合いの場づくりと住民主体の福祉活動の推進に取組んだ。また、自治会等での地域生活課題を共有する会議に参加した。

・小地域での地域支え合い会議(自治会及び行政区等)は、以下の22カ所で実施し、自治会長、民生委員、社協ＣＳＷ、相談支援包括化推進員、圏域の地域包括支援センター職員などが参加した。

(1)赤井地域　3地区(上区、南西(よりそいの会)、南新町)
(2)大曲地域　3地区(五味倉、横沼、大曲)
(3)矢本東地域　5 地区(関の内西、作田浦(楽楽会)、谷地、下小松、あおい地区(見守り部会))
(4)矢本西地域　1地区(河戸(サルビア会))
(5)大塩地域　1地区(塩入(塩入シニアの会))
(6)小野地域　5地区(小野上、新道町内会、川下、往還、平岡)
(7)野蒜地域　3地区(亀岡、東名、野蒜ケ丘一丁目)
(8)宮戸地域　1地区(里浜)

③地域の相談拠点づくり事業(ゆったりサロン)

・コロナ禍のため中止とした。

④ふれあいサロン活動推進事業

・地域の身近な場所で住民が自主的・主体的に活動を行う「ふれあいサロン」活動団体の把握と活動団体の事業運営に対して助成金を交付し、小地域での福祉活動の拡充と活性化を図った。

・登録団体：115団体
・東松島市財源分「通いの場事業費」助成金の交付：50団体3,729,560円
・社協財源分「小地域福祉活動事業費」助成金の交付：9団体146,750円

■ふれあいサロン登録団体及び「ふれあいサロン活動助成金」交付先

番号	地区	団体名	助成金(円)	
			市	社協
1	野蒜	かたくり会	47,000	－
2	矢本西	三角公園自治会いきいき三燦会	96,000	－
3	小野	川下ふれあいサロン	－	－
4	大塩	裏沢いきいきほっとサロン	92,000	－

5	矢本西	爺・婆まけん隊	96,000	－
6	大曲	ヘルシーカフェあがらいん茶屋	96,000	－
7	宮戸	ほっこり常楽会	－	－
8	赤井	105 ピンピン体操の会	48,000	－
9	赤井	南三区なごみ会	72,000	－
10	矢本東	いきいき長寿会	－	－
11	矢本東	あおい元気サークル	120,000	－
12	矢本東	なごみ百歳体操	92,500	－
13	矢本西	笑母倶楽部	－	－
14	矢本東	下小松地区自治会	11,000	－
15	矢本東	下町べっぴん百歳体操	96,000	－
16	赤井	柳西区はまなす会	－	－
17	小野	ひまわりの会	－	－
18	野蒜	スマイル元気会	96,000	－
19	赤井	にこにこサロン	－	－
20	矢本東	やよい会	－	－
21	矢本西	にっこり百歳体操	96,000	－
22	大塩	中自治会お茶っこ飲みの会	－	－
23	大曲	百歳体操よつばの会	－	－
24	小野	笑顔の会	－	－
25	矢本東	あいサロンぽっぽ	94,000	－
26	野蒜	チーム楽楽楽	72,000	－
27	小野	お茶っこの会	－	－
28	大塩	なんだ坂こんな坂サークル	58,000	－
29	野蒜	いきいき会	64,500	－
30	矢本東	カトレア会	48,000	－
31	赤井	南区和幸会	92,000	－
32	野蒜	東名地区あざみの会	52,500	－
33	小野	遊楽楽会	72,000	－
34	小野	しゃんしゃんとクラブ	－	－
35	小野	はつらつシニア	96,000	－
36	矢本西	前里自治会	－	－
37	矢本西	小松南住宅シニアクラブ	－	－
38	矢本東	作田浦”美女と野獣”の会	－	－
39	野蒜	のびる多面的機能自治会 (中下いきいきちょっこら会)	41,000	－
40	小野	川下百歳体操	38,000	－
41	矢本東	いきいき桜の会	－	－
42	矢本東	上若百の会	96,000	－
43	赤井	川前サルビア会	－	－
44	赤井	さくらんぼ会	66,000	－
45	野蒜	野菜っこクラブ	－	－
46	小野	肘曲にこにこサロン	－	9,000

47	矢本西	悠悠クラブ	－	－
48	小野	西福田地区こまち	88,000	－
49	小野	下福田おそうじ隊	－	－
50	大塩	塩入いきいきホットサロン	－	－
51	赤井	1.5会	－	－
52	小野	新道町内会自治会	96,000	－
53	野蒜	浅井百歳体操会	48,000	－
54	赤井	ひいらぎ会	－	－
55	大塩	あったかサロン・シオイリ	120,000	－
56	矢本東	下町一ふわふわ会	－	－
57	矢本東	下町四地区自治会お茶っこ飲み会	－	－
58	矢本西	ホットサロンたんぽぽの会	－	9,000
59	矢本東	大溜ひばり会	－	－
60	野蒜	シャンシャン会	－	－
61	野蒜	男クラブ	－	－
62	大塩	大塩スマイル	70,000	－
63	宮戸	里浜げんきクラブ	72,000	－
64	矢本東	大溜なのはなクラブ	84,000	－
65	大曲	大曲地区ピンポンクラブ	－	27,500
66	大塩	大島地区健康体操	48,000	－
67	矢本東	谷地区自治会(お茶サロン谷地)	74,000	－
68	赤井	なないろの会	－	－
69	大曲	五味倉地区自治会	－	－
70	矢本西	ひよこクラブ	96,000	－
71	小野	川下グランドゴルフ愛好会	－	24,000
72	宮戸	ピンコロ体操	48,000	－
73	矢本東	あおい一丁目地区自治会	－	－
74	赤井	「いきいきクラブ」	120,000	－
75	赤井	下区ボランティアコスモス会	－	－
76	矢本東	あじさい会ふれあいサロン	－	－
77	大曲	横沼櫻木の会	82,500	－
78	赤井	南新町月曜サロン	－	1,250
79	小野	健康マージャン愛好会	－	－
80	赤井	下区福寿会	－	－
81	矢本東	下町一自治会お茶っこ会	－	－
82	野蒜	ＮＰＯ法人のんびーりすみちゃんの家	－	－
83	矢本西	河戸自治会	－	－
84	大曲	さくらホットサロン	－	16,500
85	野蒜	春カラオケ会	－	－
86	赤井	川前集会所運営協議会	－	－
87	大塩	もみじ会	－	－
88	宮戸	お茶のみ友の会	－	－
89	赤井	柳北自治会生き活きライフクラブ	－	－

90	大塩	表百歳体操	72,000	－
91	赤井	お達者クラブ	－	－
92	矢本東	ひまわり会	63,000	－
93	大曲	レクダンス「ケ・セラ・セラ」	－	－
94	大曲	横沼ピンポン愛好会	－	－
95	野蒜	浅井長生会	－	－
96	大塩	小分木 110 歳	－	－
97	矢本西	前柳月見草	－	－
98	矢本西	沢田いきいき 101 歳	96,000	－
99	矢本西	上小松いきいき会	78,000	－
100	赤井	すみれ会	47,000	－
101	矢本西	手招ひまわり会	－	－
102	小野	上下堤みんなでいきいき楽しむ会	96,000	－
103	矢本西	ふれあいサロン「立華会」	46,500	－
104	小野	根古ふれあいサロン	8,000	－
105	矢本東	楽楽会	－	－
106	野蒜	野蒜グランドゴルフ愛好会	－	48,000
107	野蒜	チーム室浜	－	－
108	矢本西	鹿妻若葉の会	72,000	－
109	矢本西	河戸自治会さわやかサロン	－	－
110	矢本東	四葉会	－	7,000
111	赤井	柳区自治会	－	－
112	小野	往還上ゆったりクラブ	44,000	
113	赤井	お茶っこ飲み会	－	－
114	小野	上寿会	112,060	
115	矢本西	ほっとサークル	－	4,500
			50 団体 3,729,560	9 団体 146,750

⑤地域見守り事業の推進（住民支え合いマップ・シルバーメイト事業）

・より身近な圏域での地域福祉活動を推進するため、自治会や行政区圏域の地縁組織を単位とした話し合いの場づくりと住民主体の福祉活動の推進に取組んだ。また、自治会等での地域生活課題を共有する会議に参加した。

・小地域での地域支え合い会議（自治会及び行政区等）は、以下の 22 か所で実施し、自治会長、民生委員、社協ＣＳＷ、相談支援包括化推進員、圏域の地域包括支援センター職員などが参加した（再掲）。

(1)赤井地域　3 地区（上区、南西（よりそいの会）、南新町）
(2)大曲地域　3 地区（五味倉、横沼、大曲）
(3)矢本東地域　5 地区（関の内西、作田浦（楽楽会）、谷地、下小松、あおい地区（見守り部会））
(4)矢本西地域　1 地区（河戸（サルビア会））
(5)大塩地域　1 地区（塩入（塩入シニアの会））
(6)小野地域　5 地区（小野上、新道町内会、川下、往還、平岡）
(7)野蒜地域　3 地区（亀岡、東名、野蒜ケ丘一丁目）
(8)宮戸地域　1 地区（里浜）

■シルバーメイト地域見守り支援事業

・地域住民主体の日常的な見守りを推進するため、「シルバーメイト地域見守り支援事業」の助成金交付を通じ、地域支え合い活動の促進を図った。

助成先	助成金	シルバー数	メイト数
根古自治会	70,000 円	15 人	4 人
上河戸一サルビア会	30,000 円	11 人	10 人
あおい地区会	110,000 円	198 人	10 人
合計	210,000 円	236 人	24 人

⑥福祉のまちづくり支援事業の実施

・令和 3 年度福祉のまちづくり支援事業実施要綱により、社協・支部が実施する地域福祉の向上を目的にした事業・活動に対する助成を実施し、「福祉のまちづくり」の推進を図った(助成金の上限:会費納入の 20%)。

(助成事業実績)

事業区分	件数	主な事業	主な内容
高齢者福祉事業	49 件	敬老会、記念品配布、老人クラブ助成	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、敬老会開催は中止したが対象者宅を訪問、記念品を届けた自治会が多かった。見守り・状況把握を兼ねて訪問
地域交流事業	5 件	公園の光のページェント、サマーレクリエーション、クリスマス会	公園に光のページェント設置点灯イベント、各戸を回りクリスマスプレゼントの配布
児童福祉事業	4 件	子供会育成支援、子供会への助成、新入学児童祝い金、サマーレクリエーション	感染予防対策をしながら花火大会実施、子供会結成の支援
環境保全事業	2 件	地区内清掃美化活動、花の香る町づくり	プランター植栽設置作業を住民共同で実施
次年度へ繰越	2 件	事業が開催できなかったため、令和 4 年度へ繰越	
合計	62 件	助成金額合計　2,249, 760 円(会費納入総額の 20.0%)	

※申請自治会数…62 件(複数の事業を実施している自治会有)

⑦自治協議会(福祉部会)や市民センターとの連携の推進

・地域自治組織等が、地域福祉事業を円滑に進められるよう助成を行い、地域福祉事業の推進にあたった。

助成先	助成額
矢本東まちづくり協議会	70,000 円
矢本西コミュニティ協議会	70,000 円
赤井地区自治協議会	70,000 円
大塩自治協議会	30,000 円
合計	240,000 円

⑧ノーマライゼーション普及事業の実施

・市内の特別支援学級に在籍している児童・生徒とその家族が、コロナ禍でも地域活動に参加できるよう、地域関係者と交流活動を企画し実施した。

事 業 名　夏休みのつどい in 東松島～親子パークゴルフで交流しよう～
実 施 日　7 月 30 日
会　　場　矢本海浜緑地パークゴルフ場
参加人数　2 家族(5 人)、教諭 1 人

⑨特別支援学級への学用品等支給事業

・児童・生徒の学習支援の一環として、市内特別支援学級設置校と支援団体(あかしや会・しいのみ会・いちょうの会)が主催する行事に協賛し、学用品等の贈呈を行った。

事業名	時期	支給内容
あかしや会・しいの実会・いちょうの会主催 「合同クリスマス学習会」 (コロナ感染予防のため学校ごとに開催)	12 月 1 日～ 12 月 18 日	図書カード (71 人)
あかしや会・しいの実会・いちょうの会主催 「卒業・進級を祝う会」 (コロナ感染予防のため学校ごとに開催)	2 月 16 日～ 2 月 25 日	文具セット (進級 51 人) (卒業 21 人)

⑩子ども・若者の居場所づくり支援事業

■東松島市地域食堂ネットワーク会議の開催

・市内で地域食堂を実施している団体のネットワーク化を進め、それぞれの活動の充実につながる情報や資源の共有を図ることを目的に会議を実施した。

・第 1 回東松島市地域食堂ネットワーク会議

日　時：12 月 17 日　午後 1 時 30 分～
場　所：柳北区地区センター
参加者：ありあけだんらん食堂、野蒜みんなの食堂、ひだまり食堂、主任児童委員、フードバンクいしのまき、東松島まちづくり応援団、地域おこし協力隊、くらし安心サポートセンター
内　容：各団体の活動報告、実現したいこと、活動する中で困っていることや相談したいこと、他の団体に出来る支援について話し合った。

⑪心のケア促進事業(被災者サポート事業より移行)

・被災者の孤立感の解消や地域内でのつながりづくり、生きがいづくりを目的に心の復興の促進に努めた。

■音無美紀子の歌声喫茶(コロナ・中止)

※開催は中止となったが、令和 4 年 3 月 12 日に「音無美紀子のオンライン歌声喫茶」に職員が参加し、東松島市の現状や思いを伝えた。

■安田智彦と仲間たち「スプリングジャズコンサート」

開催日　3 月 26 日　/　会場　矢本西市民センター　/　参加人数　58 人

■金子美枝のフラワーアレジメント教室

講師:フラワー装飾技能士１級 華創師　金子　美枝 氏(横浜市在住)

時期	開催場所	参加者数
12 月 18 日	大曲市民センター	15 人
12 月 18 日	小野市民センター	18 人
12 月 19 日	矢本西市民センター	23 人
	合計	56 人

※年間予定の 7 月、3 月はコロナまん延防止等重点措置及び宮城県緊急特別要請により中止した。

⑫東松島市民生委員児童委員協議会の事務支援

・民生委員児童委員協議会の事務支援を通じ、市や社協事業と連携した地域共生社会の実現に向けての取り組みを行った。

■東松島市民生委員児童委員協議会(事務・事業の支援)

・民生委員・児童委員との連携強化を図るため協議会運営の支援を行った。

構成	定数 84 人　/　現員数　民生委員 72 人、主任児童委員 3 人
会議の状況	定期総会：4 月 15 日(書面表決) 定例会毎月開催(毎月 10 日前後) ※9 月と 2 月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 役員会(16 回)、児童専門部会(4 回)、監査会(2 回)
支援内容	①会議資料作成②報告文書等の作成と発送③会議運営支援 ④会計事務支援

⑬各種福祉団体の事務支援

・それぞれの福祉団体が目的達成に向けて、自立した活動ができるよう事務支援を行った。

■東松島市老人クラブ連合会

構成	31 単位クラブ、会員数 912 人
会議の状況	総会：年 1 回、理事会：年 3 回、監査会：年 1 回
支援内容	①補助金の申請手続き(申請～実績報告)②会計処理③会議等の運営④広報誌の発行⑤単位クラブ活動充実のため衛生用品の配布 ※総会は書面決議 ※スポーツ大会・演芸大会・講演会は新型コロナウイルスの影響で中止

■東松島市遺族会

構成	会員数 265 人
会議の状況	代議員会(総会)：年 1 回 正・副会長会議：年 3 回、理事会：年 2 回、監査会：年 1 回
支援内容	①会費の一時預かり②会議等の運営③戦没者追悼式典の準備等 ※令和 3 年度代議員総会は書面決議 ※令和 3 年度戦没者追悼式は新型コロナウイルスの影響で中止

■東松島市身体障害者福祉協会

構成	会員数 52 人
会議の状況	総会：年 1 回、役員会：年 4 回、三役会議：年 1 回
支援内容	①補助金の申請手続き(申請～実績報告)②会計補助③会議等の運営④各種行事の運営⑤感染予防グッズの配布⑥身障だよりの発行

■東松島市介護支援すこやかクラブ

構成	会員数 44 人
会議の状況	総会：年 1 回、役員会：年 7 回、監査会 1 回
支援内容	①広報誌の作成②研修会の開催③まちづくり(植栽活動)

■東松島市共同募金委員会

構成	委員数 9 人
会議の状況	運営委員会：年 1 回、配分委員会：年 1 回
支援内容	①事業運営全般②会計処理③募金活動(赤い羽根、歳末たすけあい、災害義援金)④助成金の申請・配分

⑭社福法人・社協連携による「地域における公益的な取組」の推進

■「東松島市社会福祉法人連絡会」との共同による公益的な取組事業

時期	内容
通年	福祉なんでも相談窓口の設置
8 月～	個別困難事例について、法人連絡会で支援 (社協で移送、施設内の浴室を借りてのシャワー浴)
10 月 29 日	第 1 回福祉なんでもネットワーク会議
12 月 16 日	第 1 回福祉なんでも相談のための研修会
1 月 21 日	第 2 回福祉なんでも相談のための研修会

※多機関の協働による包括的支援体制構築事業に掲載

⑮情報発信力の強化

■広報誌「社協だより　ふれあいねっと」の定期発行(全戸配布)

・地域福祉活動を啓発・促進させるため、12 回(毎月)発行した。

・発行部数　15,600 部/月

号数	発行日
第 88 号	令和 3 年 4 月 1 日
第 89 号	5 月 1 日
第 90 号	6 月 1 日
第 91 号	7 月 2 日
第 92 号	8 月 1 日
第 93 号	9 月 1 日

号数	発行日
第 94 号	10 月 1 日
第 95 号	11 月 1 日
第 96 号	12 月 1 日
第 97 号	令和 4 年 1 月 1 日
第 98 号	2 月 1 日
第 99 号	3 月 1 日

■東松島市社会福祉協議会ホームページ

・ホームページの充実を図り、地域福祉活動に関する最新情報の発信に努めた。

・前年度に引き続き、コロナ禍での事業の中止や再開のお知らせ、緊急特例貸付等の情報やフードパントリー等、即時性が求められる情報の発信を行った。

・3 月に発生した福島県沖の地震被害に遭われた方への片付けボランティア募集も行った。(http://www.hmfukushi.jp/)

⑯災害時生活支援体制の整備

■災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定締結

・12 月 21 日、災害時における東松島市災害ボランティアセンターの設置や運営、費用負担等を定め、被災者の生活支援に寄与することを目的に、東松島市と本会の間で協定を締結した。

※本協定を締結することになった背景

・近年、頻発化・激甚化する災害での対応において、災害ボランティア活動やそれを調整する災害ボランティアセンターの運営は、被災者を支援する共助の取り組みとして認知されてきた。いまは、全国各地で起こる災害の都度、広域から多数のボランティアが駆け付け、ボランティア調整の業務負担は増大している。東日本大震災での本市の取り組みにおいては、災害ボランティアセンターの設置・運営期間、平成 23 年 3 月 19 日から 8 月 12 日までの 146 日間で、延べ 47,469 人(1 日最大 1,107 人)の全国の方々に登録いただき、支援を受けた。

・ボランティア調整の業務負担については、長年の懸案事項ではありましたが、国において、救助とボランティア活動の調整に必要な人員の確保について、令和 2 年 7 月豪雨災害から災害救助法の国庫負担の対象とすることが決まった。ただし、国庫負担の対象経費となったのは、人件費の一部と派遣職員の旅費に係る経費であり、拠点の設置費用や運営資金は含まれておらず、大規模災害の発生時に、災害ボランティアセンターを円滑に設置・運営するためには、平時から市と社協で協定を締結し、役割などを決めておくことが重要であると内閣府や全国社会福祉協議会からの通知に基づき、協定締結について協議を進めてきたもの。

■災害ボランティアセンターの設置・運営マニュアルの改定

・災害ボランティアセンターの設置・運営マニュアルの改定を行った。

■東松島市総合防災訓練への参加

・市総合防災訓練への参加と併せ、福祉避難所の設置訓練、県社協との情報共有・支援体制、災害ボランティアセンター運営、感染症まん延時の対応等、災害発生時において取り組むべき事項の確認と点検を行った。

開催時期：6 月 6 日(日)　9:00～11:00
場　　所：老人福祉センター
参加範囲：会長、常務、市内在住の正規職員　13 名
実施内容：①職員参集訓練②災害対策本部設置訓練③東松島市災害対策本部への参加④福祉避難所設置訓練(避難者受入態勢確認、ファミリールームの設置、備蓄品在庫確認)⑤避難誘導訓練⑥災害ボランティアセンター設置訓練

■災害対応状況

(1)南太平洋トンガの火山噴火による津波注意報

・令和4年1月16日(火)、午前0時15分宮城県に津波注意報が発表され、同40分、東松島市災害対策本部が設置された。

・数回の市災害対策本部員会議に千葉次長が出席し、その都度津波の影響、避難状況等について、情報の収集と社協内部での情報共有を図った。

・参集職員(6人)のもと、福祉避難所開設と受け入れ態勢を整え待機した。

(2)福島県沖地震

・令和4年3月16日(水)、午後11時36分、福島県沖でマグニチュード7.3の地震が発生、津波注意報が発表される。

・午後11時39分東松島市災害対策本部が設置され、数回の市災害対策本部員会議に千葉次長が出席、その都度地震の影響、避難状況等について、情報の収集と社協内部での情報共有を図った。

・会長以下職員参集(9人)のもと、福祉避難所開設と受け入れ態勢を整えた。

⑰社会福祉大会の開催

・地域福祉推進に向けたシンポジウムと功労者表彰式典を計画していが、コロナ感染拡大のため、集合型の開催が困難になったため開催を中止し、受賞者へは職員が賞状・記念品を届けた。

〇令和3年度 東松島市社会福祉功労者表彰式受賞者（敬称略）

(1)民生委員及び社会福祉活動の奉仕者でその功績顕著なもの

≪民生委員児童委員(16人)≫

奥田知子、佐々木善吾、吉木妙子、佐藤　功、黒須みよ子、大山浄心、内海牧子、山口廣子、及川克彦、米澤順子、大友栄子、狩野三男、外処はま子、土井まさ子、木村優一、飯坂純子

≪東松島市社会福祉協議会支部推薦(28人)≫

遠藤邦雄(上区)、佐藤りつ子(関の内三)、三浦節子(河戸)、朝日田セツ子(河戸)、星山徳子(河戸)、雫石勢子(五味倉)、片倉佐津子(五味倉)、佐々木孝子(五味倉)、栗田キミ子(横沼)、伊藤悦子(横沼)、安斉　操(あおい二丁目)、関野満義(あおい二丁目)、遠藤新子(南新町)、小山さち子(南新町)、松谷さだゑ(下町四)、遠藤**捷**子(下町四)、安積　強(谷地)、石井典男(大塚)、石垣弘司(大塚)、小堤祥子(南西)、関口ふき子(三角公園)、佐藤たき子(三角公園)、安達美紀子(上納)、土井良子(下小松)、千葉美和(下小松)、伊藤京子(大曲)、千葉成子(大曲)、志賀美榮子(大曲)

≪百歳体操・ボランティア団体推薦(20人)≫

齋藤テルヨ(下町べっぴん百歳体　操)、鈴木せつ子(下町べっぴん百歳体操)、阿部正也(三味線将大会)、池田しげ子(ホットシンガーズ)、木村礼子(やよい会)、齋藤稔(石巻アマチュアマジック協会)、佐藤壽美子(ジョークボランティア)、戸田祥子(てあわせ表現東松島)、平塚和子(JAフォークダンスサークル)、三浦富治郎(民謡はまなす会)、工藤洋子(ひがしさくら会)、相澤和子(月見会)、阿部としえ(さくらんぼ会)、石田秀躬(点訳サークル)、岩井みゑ子(ミッフィークラブ)、及川孝志(宮城いきいきこでまり会)、鈴木伸夫(矢本鼓和の会)、髙橋イチ子(矢本民謡桃香会)、手代木友子(ボランティア優遊)、吉野洋子(萩乃若千扇壽会)

≪ボランティア団体(6団体)≫

すずめの会、南新町月曜サロン、東松島民話の会「おさるのかごや」、東松島市レクリエーション協会、笑母倶楽部、桂会

(2)社会福祉施設、社会福祉団体等の役職員でその功績顕著な者

≪社会福祉施設・事業所の役職員(47 人)≫

大山金雄(社協役員)、木村敏子(社協役員)、佐藤　康男(社協役員)、尾形博巳(社協役員)、菊池昌三(社協役員)、千葉春雄(社協役員)、佐藤まき子(社協役員)、三浦サイ子(社協役員)、渡邊　勝(社協役員)、西塚敬吾(社協支部長)、丹　隆義(社協支部長)、片岡健治(社協支部長)、今野勝彦(社協支部長)、木村友子(社協職員)、阿部和子(社協職員)、千葉貴弘(社協職員)、阿部　誠(社協職員)、杉山　瞳(社協職員)、木村佳美(社協職員)、高田欽弥(社協職員)、土居惠美子(社協職員)、佐藤誠子(社協職員)、木村智子(社協職員)、石垣久子(社協職員)、佐々木せい子(社協職員)、尾形とし子(社協職員)、菊地京子(社協職員)、日野美佐子(社協職員)、樋口潤子(社協職員)、髙山幸子(やすらぎ会職員)、大久保順子(やすらぎ会職員)、大丸るり子(やすらぎ会職員)、佐藤清美(やすらぎ会職員)、伊藤紀子(やすらぎ会職員)、伊藤淳子(やすらぎ会職員)、髙橋和宏(やすらぎ会職員)、吉田結里枝(さつき苑職員)、古山静子(グループホーム日和)、三浦由三(老人クラブ連合会役員)、板橋靖夫(老人クラブ連合会役員)、佐々木勝利(老人クラブ連合会役員)、菅野周一(遺族会役員)加藤一枝(身障協会役員)、佐藤幹子(介護支援すこやかクラブ役員)、内海かつ子(介護支援すこやかクラブ役員)、千葉秀子(介護支援すこやかクラブ役員)、小山サキ子(介護支援すこやかクラブ役員)

◎社会福祉事業に対し、金品の寄贈または労力の奉仕者でその功績顕著な者

≪寄附金品の寄贈者(9 人)≫

片倉章、大崎正吾、岩井きよ子、鈴木静夫、片倉勇規、平正仁、佐々木章、門間淳子、上野剛嗣

≪寄附　企業・団体(2 社・2 団体)≫

株式会社 木村土建、株式会社 橋本道路、ジャパンゴルフツアー選手会、東松島市工務店協同組合

≪共同募金(2 人)≫

阿部宣子、セブンイレブン矢本インター店

≪賛助会員・特別会員(28 人)≫

高橋幹夫、株式会社いしがき金物店、株式会社守平商店、株式会社文尚堂、定林寺、ちば鷹歯科医院、同和警備株式会社石巻営業所、同和興業株式会社石巻営業所、七十七銀行矢本支店、扶桑電機工業株式会社、法昌寺、訪問介護事業つくし、わたなべ整形外科、同心興業株式会社、奥洲物産運輸株式会社、株式会社尾形土建、有限会社阿部建窓、有限会社海馬工苑、有限会社奥松島観光タクシー、有限会社 宮城精米、鳴瀬中央医院、石巻信用金庫矢本支店、伊東胃腸科内科、大勇堂、岩手屋、願成寺、株式会社櫻井建設、介護レンタルショップパンジー

◎社会福祉事業に対し特に協力した地区または支部社協

≪優良活動支部(2 支部)≫

大曲地区支部、新道町内会支部

◎その他会長が特に表彰を認める者

≪社協の被災者支援事業に協力している個人・団体(2 団体)≫

新生銀行グループ、味の素ファンデーション

≪その他会長が特に表彰を認める個人・団体(4 団体)≫

宮城県石巻西高等学校生徒会、矢本東小学校福祉委員会、株式会社福寿海東松島営業所、とっておきの音楽祭in東まつしま実行委員会

※表彰状受賞(個人・団体)…117　感謝状受賞(個人・団体)…51

⑱一人暮らし学生応援プロジェクト

・親元を離れ一人暮らししている学生の生活支援を企画したが、東松島市が行う「出身学生応援事業」と事業内容が重複することとなったため、企画を見直した。
・コロナ禍において生活状況が厳しい(困っている)世帯が多くみられたことから、フードドライブで備蓄した食料品を一般の生活困窮者に提供する「フードパントリー」を実施(令和 4 年 3 月 15 日、60 世帯)した。
・コロナ禍による相談者の増加に伴い、今後、通年事業として定期開催を検討することにした。

⑲防災・地域交流推進のためのテント配分事業

・誰もが地域社会の一員として参加できる様々な福祉活動の展開を推進し、自治会が行う安心安全な福祉のまちづくりへの理解と参加を図るため、テントの現物支給を行った。
・社協配分事業として①上町東地区自治会②下町四地区自治会③下浦自治会④四反走地区自治会⑤あおい一丁目自治会⑥あおい二丁目自治会⑦柳西地区自治会⑧五味倉地区自治会⑨上下堤地区自治会⑩亀岡地区自治会⑪野蒜ケ丘二丁目自治会に配分した。
・共同募金委員会からは、①二反走自治会②沢田自治会③川下自治会に配分した。

⑳東日本大震災復興支援活動の経験の伝承

・東日本大震災から 10 年が過ぎ、これまで取り組んできた被災者支援事業や自然災害への対応、被災者支援から地域福祉への展開の記録を次世代に伝え、震災の経験の風化防止のため、記録誌制作に向け、情報・記録の収集に努めた。

㉑社協事業を通じたＳＤＧｓの推進

・石巻西高が授業の一環で取組む「ＳＤＧｓ地域研究課題」の会議に職員を派遣し、テーマ設定や課題解決に向けた計画書作成の助言を行った。
・市の地方創生・ＳＤＧｓ推進室と連携し、市庁舎内でのフードドライブの実施や「復興感謝第１回東松島市産業祭」へのブース出展を行った。また、自治会や第２層協議体等に出向き、本市における生活困窮者の実態やフードドライブによる食糧支援の意義等について、住民理解の促進を図った。このことをきっかけとして、自治会や自治協議会、地域団体等が主体となって独自にフードドライブに取り組む事例が生まれた。

(3)生活支援体制整備事業(市委託業務)

①生活支援体制整備事業

■生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)の配置

・地域支え合い体制の構築のため、第 1 層に 1 人、第 2 層に 3 人(内、1 人は第 1 層と兼務)の生活支援コーディネーターを配置し、地域資源の把握やお茶会等集いの場の立上げ、地域での見守り活動等支援を行った。

■生活支援コーディネーターの活動状況

ア　市全域での活動件数

活　動　内　容	件　数
総合調整・活動支援(多機関との調整や第 1 層及び第 2 層間の調整、団体等への活動支援)	12 件
研修会の開催(フォーラムや支え合いに関する研修会)	9 件
ネットワークの構築(関係機関との情報交換会や他機関との連携を図ったもの)	13 件

広域的な業務(他市町村との連携や情報交換会)	13 件
定例会議(市役所との生活支援体制整備事業定例会議)	24 件
会議等への出席(地域ケア会議や他の地域包括ケアに関連する会議への出席)	69 件
協議体の運営(第 1 層協議体（地域支え合い推進委員会）運営及び運営に係る調整)	8 件
アセスメント・分析(市内の地域資源に関する収集した情報のアセスメント及び分析)	6 件
その他（研修会への参加等）	22 件
計	176 件

イ　地域活動圏域の活動件数　（単位　件）

活動種別＼地域活動圏域	赤井	大曲	矢本東	矢本西	大塩	小野	野蒜・宮戸	合計
地域資源の把握	62	36	39	21	17	22	18	215
生活支援ニーズの把握	77	51	42	30	32	22	17	271
支援対象者の把握	83	47	44	29	33	25	34	295
ネットワーク構築	68	34	14	5	18	13	24	176
マッチング	30	20	9	8	25	11	10	113
サービス創出	27	22	1	1	18	3	2	74
関係機関調整	71	44	23	10	29	10	8	195
連携・連動	79	48	32	17	21	11	15	223
会議出席	9	10	25	6	1	5	4	60
協議体運営	20	23	4	7	5	2	3	64
アセスメント・分析	5	9	2	3	3	1	1	24
相談対応	16	4	31	16	1	10	13	91
その他（研修会への参加等）	6	2	11	14	3	9	5	50
計	553	350	277	167	206	144	154	1,851

■生活支援体制整備事業に係る市担当課との連携(定例会議の開催)

回数	時期	内容
第 1 回	4 月 21 日	・前年度までの生活支援体制整備事業の取り組みについて ・今年度の生活支援体制整備事業の進め方について
第 2 回	6 月 3 日	・東松島市地域支え合い推進委員会について
第 3 回	9 月 17 日	・上半期の生活支援体制整備事業について （地域ごとの活動状況の確認） ・下半期の生活支援体制整備事業の取り組みについて
第 4 回	2 月 2 日	・第 2 回東松島市地域支え合い推進委員会について
第 5 回	3 月 1 日	・令和 3 年度生活支援体制整備事業の進捗について ・第 2 回東松島市地域支え合い推進委員会について ・令和 4 年度の体制整備事業の進め方について

■第 1 層協議体の運営及び連携

・東松島市生活支援体制整備事業実施要綱に基づき、東松島市地域支え合い推進委員会（第 1 層協議体）の運営。令和 2 年度末で前委員の任期が満了となったため、まちづくり協議会や老人クラブ連合会等関係機関へ推薦依頼をし、17 人の委員に委嘱した（委員長 野崎瑞樹氏（東北文化学園大学）、副委員長 齋藤あや子氏（東松島市民生委員児童委員協議会）

ア　東松島市地域支え合い推進委員会（第 1 層協議体）の開催

時期	内容	出席者
6 月 29 日	・委員長及び副委員長の選任について ・東松島市生活支援体制整備事業の経過について ・研修テーマ 「生活支援体制整備事業と協議体の役割」 講師：東北こども福祉専門学院　副学長　大坂純氏 ・医療福祉復興再生ビジョン中間評価について	委　員13 人 事務局10 人
8 月 27 日	地域支え合いフォーラムワーキンググループ ・今年度のフォーラムの開催について	委　員 4 人 事務局 3 人
3 月 15 日	・令和 3 年度東松島市地域支え合い活動の状況について ・令和 3 年度東松島市生活支援体制整備事業の実施状況及び令和 4 年度生活支援体制整備事業の方向性について	委　員12 人 事務局 8 人

イ　啓発事業の実施

・市内で生活支援体制整備事業を進めるにあたり、介護支援専門員と地域福祉活動状況を共有するため、やもとケアマネネットの研修会で生活支援コーディネーターの活動内容と市内の地域福祉活動の状況について説明した。

・赤井地域において、令和 3 年度地域支え合い活動事例集を作成し、赤井地区自治協議会と連携し、赤井地区全戸に事例集を配布した。。

ウ　その他

・社協だより「ふれあいねっと」にて地域のサロン紹介や、協議体の活動紹介を行い体制整備事業の啓発に努めた。

■第 2 層協議体の運営・連携

・市内地域活動圏域（8 自治協エリア）において、協議体設置に向けた支援に取り組んだ。

・今年度については前年度から活動を行っている赤井、大曲、野蒜、大塩の 4 地域のほか、矢本東、矢本西、小野の 3 地域が新たに協議体を組織した。

・宮戸については、宮戸まちづくり協議会と今後の取り組みについて協議を行った。

（赤井地域）

・赤井地域第 2 層協議体（協議体名称：おせっかい）会議を年 8 回開催し、赤井地域における地域支え合い活動の啓発や野蒜地域協議体との情報交換会を実施した。

・まちづくり協議会と連携し、「赤井地域支え合い活動事例集」を作成し、赤井地域内に全戸配布した。

（大曲地域）

・アットホーム大曲安心づくり事業部（大曲地域第 2 層協議体）事業部会議を年 12 回開催した。

・安心づくり事業部が計画している高齢者、一人暮らし見守り事業や高齢者、一人暮らし生活支援事業、サロン活動支援事業、移動支援等について話し合いを行った。

・大曲地域における高齢者の福祉ニーズを把握するため、アンケート調査の実施について検討し、アンケートの内容や配布対象などについて協議した。

（野蒜地域）
・野蒜地域協議体を年 2 回開催し、高齢者の社会参加、介護予防・フレイル予防、生活支援について協議した。
・赤井地域協議体メンバーとの情報交換を実施し、市内の地域間での交流を実施した。
（大塩地域）
・大塩地域協議体を年 2 回開催し、大塩地域の地域課題として移動、買い物について中心的に協議した。
・また、大塩地域での移動販売として協議体と連携し、Harappa の移動販売を開始した（6 地区）。
・民生委員の情報交換会を 3 回実施し、地域の気になる高齢者の状況について把握した。
（矢本東地域）
・矢本東地域第 2 層協議体を 12 月に設置し、令和 3 年度は 2 回開催した。
・矢本東地域での地域福祉活動やサロンの開催状況、自治会と民生委員との連携状況などについて情報交換を実施した。
（矢本西地域）
・矢本西地域第 2 層協議体を 12 月に設置し、令和 3 年度は 2 回開催した。・矢本西地域における自治会ごとの見守り活動やサロンの運営状況について情報共有した。
・また、サロン等に参加していない方との交流などについて情報交換を行った。
（小野地域）
・小野地域第 2 層協議体を令和 4 年 3 月に設置。小野地域における地域福祉活動や民生委員の活動状況などについて情報交換を実施した。
（宮戸地域）
・まちづくり協議会と協議体設置に向けた進め方について協議を行った。本事業の概要説明をし、令和 4 年度の設置に向け協議体メンバーの候補者の選定を行った。
（全地域共通）
・サロン活動への訪問を通じて、地域支え合い活動の把握とキーパーソンとの関係づくりを実施した。
・地域生活課題の把握のため、自治会圏域（第 3 層）における地域支え合い会議を推進し、今年度は 22 の自治会において地域支え合い会議を開催した。

■生活支援体制整備事業推進協力金の交付（5 地域　総額 1,260,000 円）

地　域	交付額
赤井地域	300,000 円
大曲地域	240,000 円
矢本東地域	300,000 円
大塩地域	210,000 円
野蒜地域	210,000 円
総　額	1,260,000 円

(4) 地域介護予防事業(市委託業務)

①介護予防把握事業

■いきいき百歳体操実施サークルの登録状況及び活動状況

・登録団体 68 団体中、緊急特別要請期間中に活動自粛した団体 25 団体、無期限の活動中止団体 3 団体(手招、前柳、小分木)となった。

・宮城県の「緊急特別要請」期間中の継続意向を示した団体の代表者からは「休むのは簡単だが、高齢者の行き場がなくなり体力が落ちる」「ここに来るのが楽しみ」「みんなの顔を見ると安心する」などの声が聞かれ、「コロナ感染対策をしっかり講じているので参加者から陽性者が確認されていない」と話されている団体もあった。

・社協としては、感染予防の啓発チラシの作成・配布や他の好事例を紹介するなど、住民同士の「つながり」を絶やさないよう支援を継続した。

■いきいき百歳体操登録団体一覧

	地区名	サークル名	開催日	開催場所
1	下　町	下町べっぴん百歳体操	火・金	下町地区センター
2	川　下	川下地区百歳体操	木	川下地区センター
3	南新町	にこにこサロン	木	南区新町地区センター
4	小野下	新道町内会自治会	火	小野下地区センター
5	あおい 2	あおい元気サークル	火	あおい二丁目地区センター
6	下小松	下小松地区健康体操	木	下小松地区センター
7	南三区	なごみ会	木	川前集会所
8	浅　井	浅井百歳体操会	火	浅井地区センター
9	大　溜	あいサロンぽっぽ	水	大溜地区センター
10	小野上	遊楽楽会	木	小野上地区センター
11	上　納	ヘルシーカフェあがらいん茶屋	金	上納地区センター
12	里　浜	里浜げんきクラブ	月	里浜地区センター
13	柳　区	なないろの会	木	柳の目西住宅集会所
14	平　岡	はつらつシニア	火	平岡地区センター
15	往還下	しゃんしゃんとクラブ	火	小野駅前東集会所
16	亀　岡	チーム楽・楽・楽	木	亀岡地区センター
17	小松南	爺・婆まけん隊	月	小松南住宅集会所
18	貝　田	よつばの会	火	大曲地区センター
19	作田浦	作田浦“美女と野獣”の会	月	矢本東市民センター
20	南　五	105 ピンピン体操の会	木	南区西地区センター
21	中　下	いきいきちょっこら会	金	中下地区センター
22	赤井駅前	川前サルビア会	金	川前集会所
23	三角公園	いきいき三燦会	水	上町西地区センター
24	柳　西	柳西区はまなす会	月	川前集会所
25	室　浜	チーム室浜	金	室浜地区センター
26	関の内	いきいき長寿会	金	関の内地区センター
27	二反走	にっこり百歳体操	金	二反走集会所
28	南　区	南区和幸会百歳体操の会	月	南区西地区センター
29	野蒜ヶ丘 3	スマイル元気会	水	野蒜ヶ丘西部集会所
30	前　里	前里百歳体操	月	前里地区センター

31	東　名	東名地区あざみの会	木	東名地区ふれあいセンター
32	大浜台	ほっこり常楽会	金	大浜地区センター
33	大　塚	かたくり会	火	大塚地区センター
34	鹿　妻	鹿妻若葉の会	金	鹿妻地区センター
35	小松台	なんだ坂こんな坂サークル	木	小松台地区センター
36	野蒜ヶ丘 2	いきいき会	月	野蒜ヶ丘中央集会所
37	四反走	悠悠クラブ	火	四反走地区センター
38	西福田	西福田地区こまち	金	西福田下地区センター
39	あおい 3	なごみ百歳体操	金	あおい三丁目地区センター
40	上町東	カトレア会	金	上町東地区センター
41	裏　沢	裏沢いきいきほっとサロン	水	裏沢地区センター
42	中　区	さくらんぼ会	金	中区地区センター
43	塩　入	あったかサロン・シオイリ	水	塩入地区センター
44	野蒜ケ丘 1	シャンシャン会	月	野蒜市民センター
45	上河戸若葉	上若百の会	月	上河戸地区センター
46	上河戸一	ひよこクラブ	火	河戸地区センター
47	大塩中	大塩スマイル	火	大塩市民センター
48	下町一	下町一ふあふあ会	木	南浦地区センター
49	大　島	大島地区健康体操	火	大島地区センター
50	南新町②	いきいきクラブ	水・金	南区新町地区センター
51	谷地	お茶サロン谷地	水	谷地地区センター
52	月　浜	ピンコロ体操	火	月浜地区センター
53	柳　北	生き活きライフクラブ	水	柳北区地区センター
54	横　沼	横沼櫻木の会	月	横沼地区センター
55	下　区	すみれ会	金	下区地区センター
56	表	表百歳体操	月	表地区センター
57	東大溜	なのはなクラブ	火	大溜地区センター
58	手　招	手招ひまわり会	火	手招地区センター
59	上町東②	ひまわり会	火	上町東地区センター
60	小分木	小分木 110 歳	木	小分木地区センター
61	沢　田	沢田いきいき 101 歳	火	沢田地区センター
62	前　柳	前柳月見草	木	前柳地区センター
63	立　沼	立華会	火	立沼地区センター
64	上下堤	みんなでいきいき楽しむ会	金	上下堤地区センター
65	上小松	上小松いきいき会	金	上小松地区センター
66	根　古	根古ふれあいサロン	木	根古地区センター
67	往還上	往還上ゆったりクラブ	月	小野駅前南集会所
68	往　還	上寿会	水	往還地区センター

②介護予防普及啓発事業

■第 4 回「東松島市いきいき百歳体操」交流大会実施

・コロナ感染予防対策のため、旧矢本地区、旧鳴瀬地区の 2 会場に分け、長寿参加者表彰と「すばらしきかな人生」と題し、吉川団十郎氏による記念講演を実施した。

ア　旧矢本地区　（矢本東・矢本西・大曲・赤井・大塩地区）
令和 3 年 11 月 4 日（木）、東松島市民体育館、182 人 38 サークル参加
イ　旧鳴瀬地区（小野・野蒜・宮戸地区）
令和 3 年 11 月 10 日（水）、奥松島運動公園体育館、187 人 21 サークル参加

③地域介護予防活動支援事業

■いきいき百歳体操代表者会議の開催（コロナ感染予防対策のため 5 回に分けて開催）

(1)　第 1 回いきいき百歳体操代表者会議

・第 1 回代表者会議を開催し、下記事項について報告・協議を行った。

〈報告事項〉

・ふれあいサロン活動助成金申請団体の状況について
・百歳体操活動中における公民館総合補償制度について
・東部地域包括支援センターからのお知らせ

〈協議事項〉

・「東松島市いきいき百歳体操交流大会」の開催について
・体力測定について
・熱中症・コロナ感染防止について
・「こころと体に得するお話」について
・健康 my ポイントについて

〈第 1 回会議の開催日等〉

①赤井地区、大曲地区（7 月 6 日、赤井市民センター、22 人（15 サークル中 14 サークルが参加）
②矢本東地区（7 月 8 日、矢本東市民センター、21 人（13 サークル中 13 サークルが参加）
③矢本西地区、大塩地区（7 月 12 日、矢本西市民センター、20 人（18 サークル中 15 サークルが参加）
④野蒜地区、宮戸地区（7 月 14 日、野蒜市民センター、14 人（12 サークル中 11 サークルが参加）
⑤小野地区（7 月 16 日、小野市民センター、12 人（8 サークル中 6 サークルが参加）

(2)　第 2 回いきいき百歳体操代表者会議

・第 2 回代表者会議を開催し、下記事項について協議を行った。

〈協議事項〉

・「新型コロナウイルス感染症」感染予防対策について
・「ふれあいサロン活動」助成金の実績報告書について
・「ふれあいサロン活動」助成金の交付申請書の提出について
・公民館総合補償制度、スポーツ保険について
・物品貸与のチェックについて
・体力測定、レクリエーション活動職員派遣について

〈第 2 回会議の開催日等〉

①矢本西地区、大塩地区（2 月 7 日、矢本西市民センター、19 人（19 サークル中 14 サークルが参加）
②小野地区（2 月 9 日、小野市民センター、14 人（10 サークル中 8 サークルが参加）
③赤井地区、大曲地区（2 月 15 日、赤井市民センター、16 人（14 サークル中 10 サークルが参加）
④野蒜地区、宮戸地区（2 月 16 日、野蒜市民センター、12 人（12 サークル中 9 サークルが参加）
⑤矢本東地区（2 月 24 日、矢本東市民センター、18 人（13 サークル中 13 サークルが参加）

■いきいき百歳体操体力測定及び技術指導実施回数
・理学療法士及び作業療法士、4 回
　医療法人社団健育会ひまわり訪問看護ステーション　1 回
・サポータークラブ「虹」派遣回数及び人数
　体力測定等　106 回　/　延べ派遣人数 283 人

■地域交流サロン運営支援
・サロンスタッフやレクリエーション協会スタッフの派遣(レクリェーション等活動支援)を 49 団体へ 231 回行った。

■地域交流サロンの運営支援(内訳)

時期	回数	参加者数	時期	回数	参加者数
4 月	20 回	294 人	10 月	26 回	355 人
5 月	22 回	327 人	11 月	28 回	419 人
6 月	25 回	337 人	12 月	22 回	304 人
7 月	26 回	333 人	1 月	18 回	236 人
8 月	16 回	227 人	2 月	0 回	0 人
9 月	14 回	198 人	3 月	5 回	56 人
			合計	231 回	3,086 人

■ふれあいサロン活動助成金の交付(再掲)
・地域の身近な場所で住民が自主的・主体的に活動を行う「ふれあいサロン」活動団体の把握と活動団体の事業運営に対して助成金を交付し、小地域での福祉活動の拡充と活性化を図った。
・登録団体：115 団体
・東松島市財源分「通いの場事業費」助成金の交付：50 団体 3,729,560 円
・社協財源分「小地域福祉活動事業費」助成金の交付：9 団体 146,750 円

(5)共同募金事業(共同募金配分金による事業)
①東松島市共同募金委員会の運営
・委員会の事務局を担うとともに、共同募金運動の啓発と地域の福祉活動を推進するための民間資金の確保に努めた。
■赤い羽根共同募金実績

戸別募金	学校募金	その他募金	合計	前年比
4,195,190 円	69,095 円	61,994 円	4,326,279 円	100.7%

■災害義援金募金実績

募金の目的(募金期間)	募金の形態	送金額
島根県松江市大規模火災災害義援金 送金先:島根県共同募金会 (令和 3 年 4 月～令和 3 年 6 月末日)	募金箱設置場所 (老人福祉センター)	11,050 円
令和 3 年 7 月静岡県豪雨災害義援金募金 送金先:静岡県共同募金会 (令和 3 年 7 月～令和 4 年 3 月末日)	募金箱設置 (各市民センター･老人福祉センター)	322,570 円
令和 3 年 8 月広島県豪雨災害義援金募金 送金先:広島県共同募金会 (令和 3 年 8 月～令和 3 年 12 月末)	募金箱設置 (老人福祉センター)	15,000 円

■宮城県共同募金会配分事業

○県域配分金

・車両整備事業　社会福祉法人東松島市社会福祉協議会　900,000 円(法人用車両購入)

・施設整備事業　社会福祉法人ことぶき会　1,070,000 円(台所改修工事費用)

○住民支え合い活動助成事業(被災地に対する中央共同募金会の配分事業)

配分内容：32 団体　1,600,000 円

	団体名	事業名	金額
1	上河戸一サルビア会	おちゃっこ会	50,000 円
2	河戸自治会	さわやかサロン	50,000 円
3	友遊サロン	サロン活動	50,000 円
4	赤井楽園 PG 愛好会	サロン活動・住民交流事業	50,000 円
5	１．５会	健康づくり支援事業	50,000 円
6	小松台自治会	健康まつり・文化祭	50,000 円
7	もみじ会	お茶会・イベント交流事業	50,000 円
8	大曲地区自治会	住民間交流活動	50,000 円
9	ハッピースマイル	地域交流事業	50,000 円
10	やよい会	住民交流活動	50,000 円
11	下浦自治会	サロン事業	50,000 円
12	小松南住宅シニアクラブ	住民交流事業	50,000 円
13	奥松島産業振興協議会	奥松島地域連携交流事業	50,000 円
14	下区ボランティアコスモス会	地区高齢者支援	50,000 円
15	関の内三自治会	お茶飲み会	50,000 円
16	東松島市書道協会	児童生徒書道展	50,000 円
17	下町えがお会	お茶飲み会	50,000 円
18	東大溜ふれ愛喫茶	サロン事業	50,000 円
19	下町一自治会お茶っこ会	下町一自治会お茶っこ会	50,000 円
20	柳区自治会	柳区住民交流事業	50,000 円
21	赤井フレンドリー	地域交流事業	50,000 円
22	みんなんちクラブ	サロン活動	50,000 円
23	笑母倶楽部会	サロン活動	50,000 円
24	川前集会所運営協議会	会長杯パークゴルフ大会	50,000 円
25	ケ・セラ・セラ	レクリエーションダンス	50,000 円
26	老人クラブ和楽会	グランドゴルフ大会	50,000 円
27	東大溜悠遊クラブ	サロン活動	50,000 円
28	横沼地区自治会	敬老交流事業	50,000 円
29	大鷹会	世代間交流事業子ども食堂	50,000 円
30	塩入シニアの会	地域社会奉仕活動	50,000 円
31	新道町内会自治会	交流お茶会・男の料理	50,000 円
32	笑飲会	地域イルミネーション	50,000 円

○住民力・地域力・福祉力を高める支援事業
配分内容：3 団体　120,000 円

	団体名	事業名	金額
1	一般社団法人 美馬森Ｊａｐａｎ	馬とのふれあいハイキング	40,000 円
2	大溜ひばり会	大溜「健康づくり教室」	40,000 円
3	ＮＰＯ法人 いろどり・みんなのみち	着物ｄｅサロン	40,000 円

○小規模災害見舞金
配分内容：火事見舞 40,000 円（全焼 10,000 円×4）

②共同募金一般配分事業の実施
・共同募金の配分金を活用し、募金運動の啓発と地域において福祉活動を展開している民間福祉団体等への財政支援を行った。
■市町村募金按分処理に係る配分事業

障害児（者） 福祉活動	・活動支援団体への助成金配分 30,000 円×2 団体（身体障害者福祉協会、視覚障害者福祉協会） 30,000 円×6 団体（共生園、ぎんの星、てあわせ表現東松島、くるり、アドベンチャークラブ・こどもの広場）
児童・青少年福祉活動	・市内小中学校児童への啓発運動 赤い羽根ポスターコンクール　児童生徒　17 人応募 ・支援団体に対する助成金の配分 30,000 円×1 団体（大塩みんなの家）
災害ボランティア支援	・自治会へのテント配分　1 張・151,000 円相当 二反走自治会・沢田自治会・川下自治会

③歳末たすけあい配分事業
・関係機関や関係団体の協力のもと募金活動を展開し、新たな年を迎える時期に支援を必要とする対象者（団体）に対し、食料や見舞金として支給した。
■歳末たすけあい募金実績

戸別募金	学校募金	その他募金	合計	前年比
4,195,190 円	69,095 円	61,994 円	4,326,279 円	100.7%

※コロナウイルス感染拡大防止のため、街頭募金活動はせず、募金箱や会議等での呼びかけをした。（募金箱設置依頼先…市民センター・くらっぱ・百歳体操・地域サロン開催団体）

■歳末たすけあい募金配分委員会の開催
・開催日時　令和 3 年 12 月 23 日、老人福祉センター集会室
・出席者　配分委員会委員 5 人
・配分先の決定　下記のとおりに決定した。

配分先	配分額	
生活に課題のある世帯	26 世帯43 人	独居 10,000 円 2 人以上 15,000 円の歳末見舞金
特別支援学級支援団体	3 団体	あかしや会他　各 10,000 円

地域食堂を実施する団体	4 団体	だんらん家族会他　各 10,000 円
障がい者支援団体	1 団体	チューリップの会　10,000 円
子育て支援団体	1 団体	こっこクラブ　10,000 円
放課後子ども教室運営団体	2 団体	矢本西小地区・鳴瀬桜華小地区　各 10,000 円
火災被災者へ見舞金	3 人	各 10,000 円

■ＮＨＫ歳末助け合い配分
・一般社団法人　くるり　事業配分(年末年始行事)　30,000 円
・ＮＰＯ法人みんなの家　車両配分購入費用　1,350,000 円

④ボランティア登録団体助成事業
・ボランティア登録団体の活性化と活動しやすい環境づくりを推進するため、共同募金配分金を活用し、ボランティア活動に要する事業費を助成した(助成上限額1団体20,000円)。
・高齢者支援団体　7 団体
・芸能ボランティア団体　10 団体
・学習団体　4 団体
・子ども支援及び障害者支援団体　6 団体
・外国人支援団体　1 団体　(合計 28 団体 560,000 円)

⑤総合的学習支援事業
・家庭や学校外での地域資源を活用した体験学習を通じ、自分たちの暮らしの中にある地域との結びつきを感じてもらう活動に助成した(助成上限額 1 校 40,000 円)。

助成先	助成額	事業概要
矢本東小学校	40,000 円	3 年生　みんなにやさしい町 5 年生　住みよい町にするために
大曲小学校	40,000 円	3 年生　東松島うまいもの探検隊 4 年生　東松島博士になろう
大塩小学校	40,000 円	3 年生　大豆の達人 5 年生　米博士になろう
矢本西小学校	40,000 円	3 年生　すてきいっぱい東松島 4 年生　みんなにやさしい東松島市
赤井南小学校	40,000 円	5 年生　学ぼう 伝えよう 南小の伝統 5 年生　稲を育てよう
鳴瀬桜華小学校	40,000 円	3 年生　盲導犬にふれあおう(福祉教育) 5 年生　東松島の食 大発見！
宮野森小学校	40,000 円	6 年生　ふるさと宮野森 中学年　ふるさとの山や海に親しもう
矢本第一中学校	40,000 円	2 年生　職場体験・ボランティア活動
鳴瀬未来中学校	40,000 円	2 年生　職場体験学習
合計	360,000 円	

(6)ボランティアセンター事業

①地域福祉・ボランティア活動へのきっかけづくり

■ボランティア講座の開催

・地域福祉活動やボランティア活動への住民参加を促進するため、講座を企画したが、新型コロナウイルスに関する宮城県緊急特別要請により中止となった。

時期	場所	内容	講師	参加申込
2月17日（中止）	大曲市民センター	活動に生かせるレクリエーション講座	東松島市レクリエーション協会	11団体 21人

②ボランティア・市民活動センター機能の充実

■キャップハンディ体験教室の開催

・市内の小学校及び地域を対象に、車椅子や白杖などの福祉用具を使い、障がいによる不自由さを理解してもらうための福祉教育活動を行った。

時期	場所	学年	児童数	内容
6月 4日	矢本西小	4年	49人	福祉の基礎知識と心構え、車椅子・白杖体験
6月 7日	矢本東小	3年	81人	福祉の基礎知識と心構え、車椅子・白杖体験
6月25日	矢本東小	3年	81人	聴覚障がい当事者の講話、手話体験
7月 5日	矢本西小	4年	49人	聴覚障がい当事者の講話、手話体験
7月 9日	矢本東小	3年	81人	視覚障がい当事者の講話、点字体験
9月29日	矢本西小	4年	49人	視覚障がい当事者の講話、点字体験
12月14日	赤井南小	3年	48人	福祉の基礎知識と心構え、車椅子・白杖体験
12月21日	鳴瀬桜華小	3年	49人	福祉の基礎知識と心構え、車椅子・白杖体験

■ボランティアセンター登録状況

ア　個人ボランティア18人（前年度比　±0人）

イ　ボランティア団体

団体の種類	団体数	所属人数	前年度比較	
高齢者支援団体	8団体	114人	△1団体	△5人
高齢者支援（芸能団体）	17団体	147人		
学習支援団体	5団体	33人		
子ども・障害者支援団体	4団体	61人	△1団体	△13人
スポーツ支援団体	1団体	13人		
その他	9団体	82人		
合計	44団体	450人	△2団体	△18人

登録団体一覧

	団体名（会員数）	ボランティア活動内容
1	やよい会（16）	地区の高齢者と花見、紅葉りんご狩り、調理・サロン
2	赤十字奉仕団東松島市さくら会（37）	施設ボラ・サロン・メンタルヘルスケア・高齢者とお花見、温泉旅行、矢本西小へ花壇の手入れ、機能訓練OB会、黄色いレシート
3	ジョークボランティア（10）	高齢者とお茶のみ会・敬老会・お達者クラブ

4	下区ボランティアコスモス会(12)	高齢者との花見、菊見会、脳活性化教室・敬老会
5	さくらんぼ会(15)	脳活性化教室・野菜まつり、赤井朝市等に参加
6	ボランティア「優遊」(12)	施設訪問(うた、おはなし、手遊び)
7	笑母クラブ(5)	地域の高齢者支援・サロン調理ボラ
8	みんなんちクラブ(7)	地域(主に牛網地区)でのサロン活動や健康講座・体操の開催
9	月観会(13)	戸外事業(遠足)・社会行事(クリスマス)・会食・芸能・ゲーム・給食・交流レク
10	フラダンス愛好会　アワプヒ(3)	フラダンス・施設訪問
11	矢本民謡桃香会(9)	サロン民謡、三味線、尺八、太鼓、鉦、おはやし・舞台・祭り・施設訪問・敬老会
12	宮城いきいき　こでまり会(6)	サロン舞踊・施設訪問・いきいき学園卒業生
13	矢本鼓和の会(8)	サロン和太鼓・施設訪問
14	ホットシンガーズ(11)	童謡(デイサービス・保育所など)
15	ＪＡフォークダンスサークル(5)	フォークダンス・唄・踊り・市民文化祭
16	萩乃若扇壽会(10)	サロン舞踊・ボランティアチャリティーショー
17	スペインの風(2)	アコーステックギター、カホーンの伴奏で歌
18	フラサークル　リコレファ(9)	フラダンス
19	すずめの会(8)	歌謡・舞踊・股旅ショー
20	桂会(7)	高齢者支援・芸能ボランティア
21	民謡はまなす会(18)	生の地方伴奏に合わせ民謡を披露
22	ひなの会(8)	フラダンスによるアトラクション活動
23	石巻アマチュアマジック協会(15)	マジック演技の披露(福祉施設、幼稚園、保育所、小学校、地域サロン等)
24	プチ・シャンテ(6)	シャンソンを披露することを通じた地域交流及び生きがいづくり
25	三味線将大会(10)	三味線を伴奏とした民謡の披露高齢者施設の慰問や、地域イベント等での出演
26	G・うさぎ(13)	声の広報「市報ひがしまつしま」CD 作成・配布・読み聞かせ・朗読会・出前朗読・朗読グループ交流会
27	点訳サークル(6)	点訳・市報の点訳・学校総合学習協力
28	ドリーム(2)	絵本の読み聞かせ・大塩図書館(クンペル)
29	手話サークル(6)	手話学習・小学校総合学習協力・地域支援・聴覚障害者の行事支援
30	東松島民話の会「おさるのかごや」(6)	昔ばなしなどの民話のかたり
31	友遊倶楽部(15)	健康維持・増進を目的とした講習会や地域でのコミュニケーションの場づくり
32	ミッフィークラブ(25)	保育ボランティア(乳幼児健診・子育て支援センター・蔵しっくパーク)
33	保育ボランティア サンサンサン(4)	保育ボランティア、人形劇、おはなし会

34	東松島市福寿草福祉会(4)	精神の病気や障がいを持つ方とその家族の福祉の向上を図る
35	東松島高校　ボランティア部(10)	高校生による市内でのボランティア活動
36	東松島青年有志会インパルス(6)	若者の地域活動参加のきっかけづくり、地域イベントのお手伝い
37	東松島市レクリエーション協会(13)	レクリエーション支援活動
38	てあわせ表現・東松島(17)	障害者支援てあわせ表現ワークショップ等を通じた、障害の有無に関わらない交流・自己表現の機会の創出居場所づくり
39	よけいなさっぺ(8)	子どもや高齢者支援を通じた社会貢献活動、生きがいづくり
40	こっこクラブ(15)	子育て支援、子育て親同士の親睦、地域貢献ボランティア
41	ＮＰＯ法人 いろどり・みんなのみち(10)	高齢者施設での着物着付け、着物を用いた子どもたちへの和装教育、外国人への着物を用いた観光ツアー・体験等
42	アクション・スクエア(7)	お茶会の開催等を通じた地域支援(小野地区中心)
43	東松島国際チーム(7)	市内及び近郊在住の外国人支援日本語教室や交流会の開催など
44	大鷹会(15)	食堂運営による世代間交流、地域コミュニティ連携促進、孤食の解決、食育などを図る

■ボランティア登録団体長会議の開催

時期	場所	内容	参加数
3 月 24 日	矢本東市民センター	・保険と助成金に関する事務連絡 ・団体同士の情報交換会	19 団体

■ボランティア保険取扱状況

保険の種類	申込数	人数	事故数
ボランティア保険	63	652 人	0
ボランティア行事保険	28	1292 人	0
いきいきふれあいサロン保険	0	0 人	0

■ボランティア派遣の状況

種　類	回数	概　　要
子育て関係	7 回	子育て研修時での託児、小学校での福祉教育。 ※健診時の託児はコロナ禍で中止。
サロン支援	0 回	令和 3 年度においては、地域サロン等からの依頼はなし。

③生活支援ボランティア活動の事業推進（ひがまつあんしんサポート事業）

・高齢者等の日常生活上のちょっとした困りごとに対応するため、支援を必要とする市民（利用会員）とその支援を行う市民（協力会員）による住民主体の福祉サービス（有償助け合いサービス）を実施した。また、チラシを作成し会員募集を行った。

会員登録者数（3 月末日現在）

会員種別	登録人数	性別		在住地区別人数							
		男	女	矢本東	矢本西	大塩	赤井	大曲	小野	野蒜	宮戸
利用会員	144 人 （前年度比+35）	44	100	53	20	12	26	10	13	8	2
協力会員	37 人 （前年度比+7）	13	24	5	1	2	13	6	8	2	0

活動実績の内容

サービス内容	活動数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
③住居等の掃除・整理整頓	10	14	22	9	9	7	12	12	27	6	2	8	138
④電球、電池交換				1									1
⑤庭の草取り	8	10	10	8	2	10	12	8	1				69
⑦買い物代行	1				4	2	3	2	1			1	14
⑧通院や外出時の付添				1			1	1					3
⑩ゴミの分別・ゴミ出し	24	19	33	25	23	28	29	33	37	28	26	31	336
⑪灯油入れ										1			1
⑫コメの精米			2	1	1	2	2	1	1			1	11
合計	43	43	67	45	39	49	59	57	67	35	28	41	573

利用（活動）時間　567 時間 17 分　/　利用（活動）金額　363，900 円

利用がなかったサービス内容：

①食事の支度　②衣類等の洗濯　⑥布団干し　⑨話し相手　⑬電化製品の簡単な操作

依頼の多かった主なサービス内容

サービス内容	数	主なサービス内容
③住居の掃除	138	年末の掃除等で自分ではできない高所の依頼があった。
⑤庭の草取り	69	春から秋にかけて依頼が集中。作業する場所が広く、数回にわけて行ったケースもあった。 ※猛暑での作業を避けるため、8 月は中止とした。
⑦買い物代行	14	食料品や日用品の買い物。体調不良時等の依頼があった。
⑩ゴミ出し	336	年間を通じての定期的な依頼で、月に 2～3 回程度の割合の利用者が多い。週 2 回や週 1 回の定期的な依頼が増えた。
⑫コメの精米	11	重くて自身では運搬ができない方からの月に 1 回程度の依頼があった。

その他

◎協力会員の情報交換会を実施

時期	場所	内容	参加数
7 月 19 日	赤井市民センター	・これまでの利用･活動実績の説明 ・活動にあたっての注意点の確認 ・情報交換(活動時の状況等について)	14 人

◎協力会員向け情報志「ひがまつ安心サポート通信」の発行

発行日	内容
3 月 1 日	・新型コロナ対策について　・令和 3 年度上半期実績報告 ・依頼の現状の情報共有、ケガへの注意喚起　等

④高校生ボランティア創出事業

■石巻西高校ＳＤＧｓ課題研究への支援(アドバイザー)

時期	学年	内容	参加職員
4 月 20 日	3 年	ＳＤＧｓ地域課題研究作戦会議	阿部(和)、眞籠、金須
7 月 13 日	2 年	フィールドワーク作戦会議	眞籠、金須
7 月 20 日	3 年	ＳＤＧｓ地域課題研究発表会	眞籠、金須
10 月 19 日	2 年	街クエストⅠ発表会	眞籠、金須

■総合的な探求の時間・世代間交流事業への支援(日本ウェルネス宮城高等学校)

・日本ウェルネス宮城高等学校が実施する「総合的な探求の時間・世代間交流事業」の実施に際し、学校の所在地である小野地域において学生の世代間交流活動の受入先を調整し、1・2 学年の生徒合計 66 名を、延べ 9 か所の活動先につないだ。

≪地域の主な受入先≫

(百歳体操関係)　新道町内会自治会百歳体操、しゃんしゃんとクラブ、はつらつシニア、西福田こまち

(福祉施設関係)　はまなすの里(ことぶき会)

(そ　の　他)　下福田おそうじ隊、川下グランドゴルフ愛好会、笑顔の会

■令和 4 年 3 月福島県沖震源に対する対応

・令和 4 年 3 月 16 日に発生した福島県沖を震源とする地震への対応として、通常のボランティアセンター機能によるニーズ受付やボランティア受付を行い、被害のあった世帯に対する支援を行った。

・令和 4 年 3 月末日時点の対応状況は、ニーズ受付 16 件、作業完了 10 件、作業未完了 6 件となっている。※未完了のニーズについては、4 月も継続して対応を行う。

・市民に対する情報提供は、本会ホームページや地元新聞社への記事掲載により行った。

(7)老人福祉センター運営事業(市委託業務)

①東松島市老人福祉センターの指定管理

・コロナ禍において、周辺の状況に応じ利用の制限を行い、安心安全に使用できる環境を整備し、貸出を行った。

■部屋別利用状況

区分	利用者 延べ人数	主な利用団体等
集会室	805 人	・福祉団体役員会、会議等　・ボランティア団体会議等 ・老人一般事業各種教室開催　・各種研修会等 ・機能回復訓練(第 2・4 火曜日)　・健康体操
生活相談室	110 人	・生活安定資金、生活福祉資金貸付相談等 ・ハローワーク巡回相談
和室	435 人	・囲碁将棋のつどい(毎木曜日)　・ボランティア団体会議 ・健康相談　・介護家族の交流会ほか
利用者計	1,350 人	

■機能回復訓練事業

登録参加者数 6 人･登録介助ボランティア 6 人･毎月第 2・4 火曜日開催

時期	内容(第 2 週)	人数	内容(第 4 週)	人数
4 月	口腔体操・スクラッチアート	6 人	下肢ストレッチ･折り紙	7 人
5 月	寄せ植え	8 人	折り紙工作	8 人
6 月	折り紙工作	6 人	ボール体操・七夕作り	5 人
7 月	ボッチャ	6 人	折り紙傘作り	5 人
8 月	紙粘土・新聞紙体操	6 人	ダーツ・ストロー絵画	6 人
9 月	塗り絵・ボール体操	7 人	ハロウィンリース作り	7 人
10 月	体操・ストレッチ	4 人	塗り絵・スクラッチアート	6 人
11 月	秋の折り紙	6 人		
12 月	歌唱カルタ・ビンゴ	5 人		
1 月	折り紙・ストレッチ	5 人	俳句クイズ・塗り絵	5 人
2 月	クイズ・ストレッチ	4 人	ひな人形作り	3 人
3 月	口腔体操・コースター	4 人	計画つくり	3 人
			参加人数のべ	122 人

■老人一般活動事業

高齢者の教養を向上させるため､各種教室を開催

初心者のための 着物着付教室	講師	ＮＰＯ法人いろどりみんなのみち浅野美枝子氏
	日時	12 月 21 日(火)10:00～
	参加人数	3 人
多肉植物 寄せ植え講座	講師	菅原真由美氏
	日時	1 月 17 日(火)10:00～
	参加人数	5 人

■高齢者のための健康相談及び健康体操の開催

【開催の状況】健康相談：毎週月曜日、健康体操：毎月第１月曜日

時期	回数	人数
4 月	4	12 人
5 月	4	13 人
6 月	4	13 人
7 月	3	11 人
8 月	3	9 人
9 月	3	6 人

時期	回数	人数
10 月	4	15 人
11 月	5	23 人
12 月	4	18 人
1 月	3	12 人
2 月	4	11 人
3 月	3	8 人

合計 44 回 のべ 151 人

②老人福祉センター自主事業（各種交流事業）（コロナ・中止）

２．総合相談事業拠点区分

(1)生活困窮者自立促進支援事業(市委託業務)

①自立相談支援事業と家計相談支援事業

○コロナ禍で相談数増加

・コロナ禍の影響で令和３年４月～令和４年３月末日までの相談数 203 件(前年度 132 件、対前年比 71 件、54%増)フードバンク利用数 230 件(前年度 139 件、対前年比 91 件、65%増)となっている。

・コロナ禍の理由より就労に関する相談が多く、ハローワーク石巻との連携強化を図った。巡回相談(当センターでハローワークの職員が就労相談)は月に４回実施し、今期においては、36 人の相談者がのべ 144 回の面談を行った。

・住居に関する相談が４月から現時点まで 47 件あり、不動産屋との連携や家電・家具の関係で市内の法人との連携が進み、ホームレスの脱却や自立に繋がる支援が図られた。

・居住支援の一層の充実を図るため、居住支援部会立上げ、居住支援協議会及び関係する機関との連携も進み、今後は地元不動産屋及びホテル関係との連携も進めていく方針である。

・市民や企業、団体、自治会にフードドライブ事業への理解と協力が進む中、予約制のフードバンク事業(フードパントリー)を３月 15 日に実施した。多数の予約があり、同時に生活相談(新規)を行う機会が図れた。

・直ちに一般就労に就くことが困難な生活困窮者に対して、プランに基づき本人の状況に応じて段階的、かつ、一貫した自立のための訓練を支援する「就労準備支援事業」について、今期１人の対応を行った。

■相談支援概況

新規相談受付数(本人同意なしを含む)		203
新規相談申込数(本人同意ありのみ)		193
支援決定・確認数(再プランを含む)		172
プラン期間中の一般就労を目標にしている		132
法に基づく事業等利用	住居確保給付金	0
	一時生活支援事業	0
	家計相談支援事業	3
	就労準備事業	1
	認定就労訓練事業	0
	自立相談支援事業による就労支援	8
その他	生活福祉資金・生活安定資金による貸付	21
	生活保護受給者等就労自立促進事業	1
評価実施数(再プランを含む)		42
評価結果	終結	31
	再プランして継続	3
	中断	8
見られた変化	変化あり	35
	変化なし	7
評価実施数中、一般就労を目標		20
うち	一般就労開始を達成	8

■相談経路　※複数選択

①来談者　※複数選択

相談経路	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率
本人	72	69%	114	86%	163	84%
家族・知人	9	9%	18	14%	20	10%
関係者	30	29%	23	17%	33	17%
合計（実人数）	105	100%	132	100%	193	100%

②面談の場所・方法

相談経路	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率
直接来所	74	70%	107	81%	147	76%
電話・メール	26	25%	21	16%	24	12%
自宅	14	13%	11	8%	15	8%
関係先	3	3%	4	3%	11	6%
合計（実人数）	105	100%	132	100%	193	100%

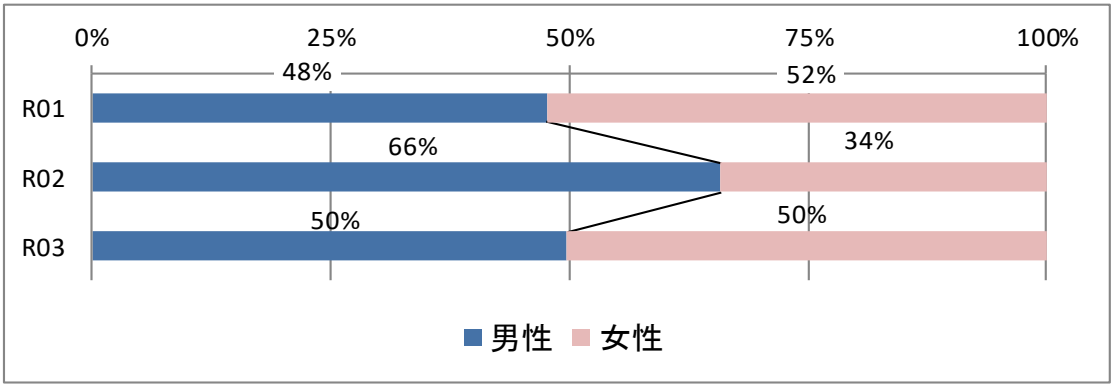
③相談のきっかけ

相談経路	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率
自立相談支援機関がアウトリーチ	5	5%	0	0%	0	0%
紹介	29	28%	42	32%	98	51%
国、自治体、自立相談支援機関等の周知	63	60%	72	55%	69	36%
その他	9	9%	25	19%	27	14%
合計（実人数）	105	100%	132	100%	193	100%

・東部包括支援センターとの連携会議が定着し、連携(紹介)するケースが増加した。
・コロナ関連の総合支援資金を受付する際、自立機関が関わることが必須となり、紹介されるケースが増加した。
・母子世帯への関りが増え、子育て支援課や学校から繋がれるケースが増加した。

■性別

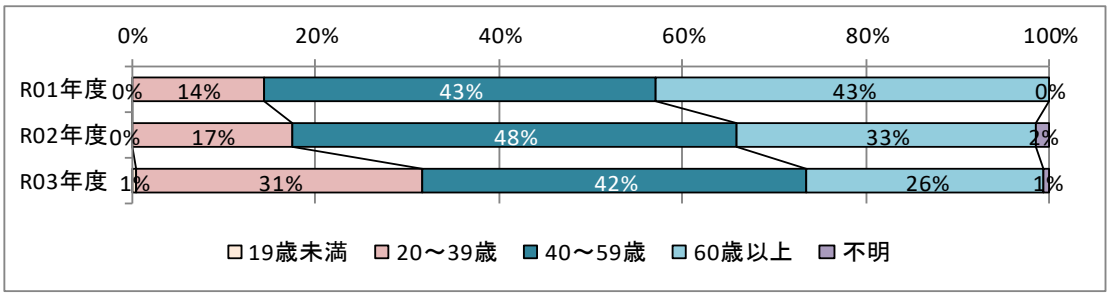
	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
男性	50	48%	87	66%	96	50%
女性	55	52%	45	34%	97	50%
合計	105	100%	132	100%	193	100%



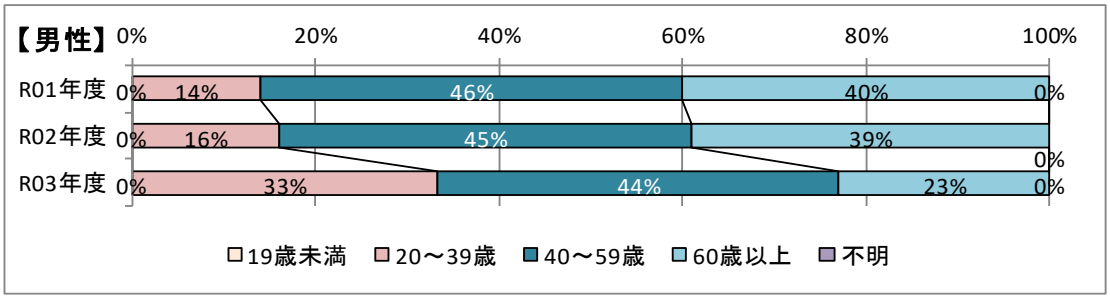
・相談者の男女比については、半々となっている。男性側の相談の多くはコロナウイルスの関係で貸付対応が増加し、自立支援機関が関わるケースが必須であることで、対象者が増加の要因となっている。世帯貸付のため生計中心者が男性のケースが多かったことや、失業・減収での就労相談の割合が増えている。
・女性側の相談の多くは母子家庭での対応が顕著に増加している。子育て支援課や学校との連携、フードパントリー(生活応援企画)の実施などから女性の相談者も増加している。

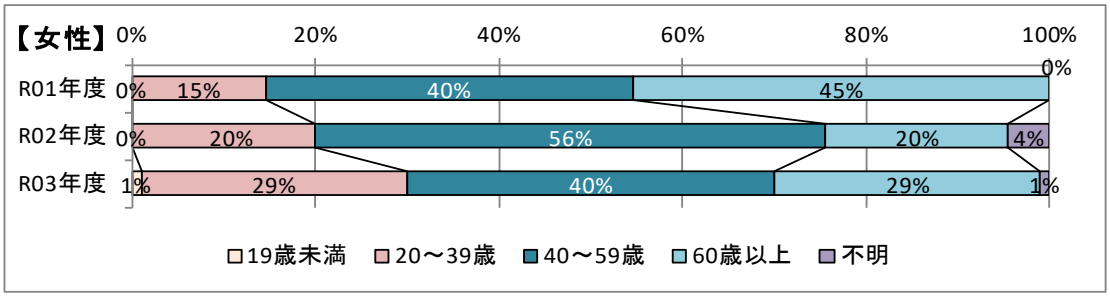
■年齢別

年齢	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
19歳未満	0	0%	0	0%	1	1%
20～39歳	15	14%	23	17%	60	31%
40～59歳	45	43%	64	48%	81	42%
60歳以上	45	43%	43	33%	50	26%
不明	0	0%	2	2%	0	0%
合計	105	100%	132	100%	192	100%



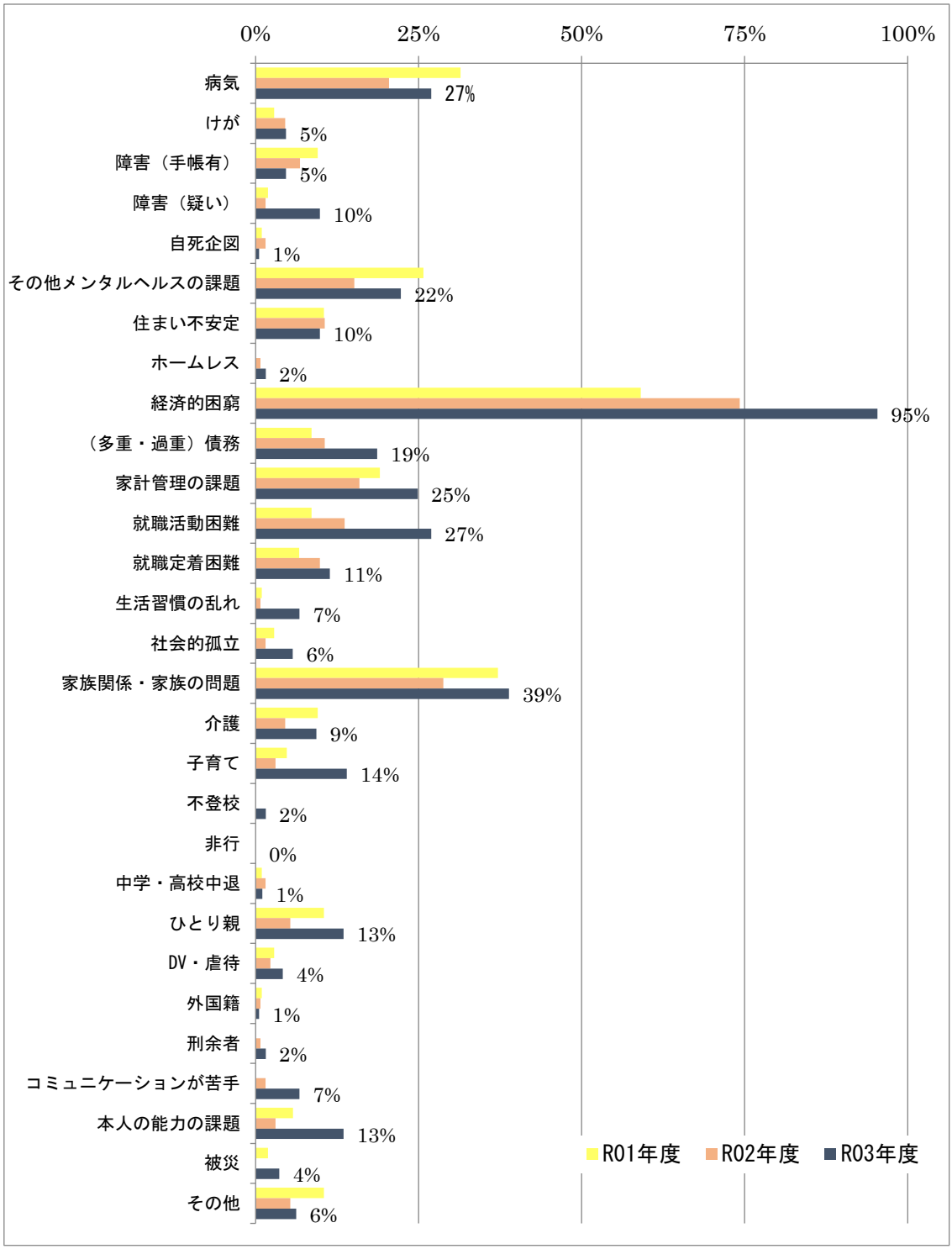
●男女別内訳





・新型コロナウイルスの影響で貸付対応ケースの相談が非常に多く、「総合支援資金」については、自立相談支援機関の相談対応が必須であることから、貸付対応をする年齢層の割合が 20 代～40 代が多いことが把握できた。

■課題別　※複数選択



・令和３年度は、新型コロナウイルスの影響での失業や休業などの相談や母子家庭（ひとり親家庭）の相談が急増しており、合わせて家族関係や子育てなど複合的な課題があるケースが増えている。

■プランの実施に係る関係機関・関係者

①　就労

関係機関・関係者	R01	R02	R03
ハローワーク	4	12	15
職業訓練所	0	0	0
就労準備支援機関	0	0	0
地域若者サポートステーション	0	0	1
就労支援法人・団体(就労訓練事業を含む)	0	0	0
一般企業	1	1	1
各種協同組合(生協等)	0	0	0
農業者・農業団体	0	0	0
合計	5	13	17

②　医療

関係機関・関係者	R01	R02	R03
医療機関	11	3	5
医療機関の内、無料低額診療実施機関	0	0	0
行政の保健担当部署	11	7	4
合計	22	10	9

③　障害

関係機関・関係者	R01	R02	R03
行政の障害担当部署	5	1	0
基幹相談支援センター	0	0	2
精神保健福祉センター	0	0	0
障害者就業・生活支援センター	0	0	0
障害者就労支援事業所	3	0	0
その他障害者支援機関・施設	4	5	0
合計	12	6	2

④　高齢

関係機関・関係者	R01	R02	R03
行政の高齢者担当部署	3	0	0
地域包括支援センター	11	6	7
居宅介護支援事業所・その他介護事業所	3	7	1
合計	17	13	8

⑤　子ども

関係機関・関係者	R01	R02	R03
行政の子ども家庭担当部署	1	0	5
教育委員会	0	0	2
保育所・幼稚園・子ども園	0	0	0
小・中・高(特別支援含む)学校	0	0	4

大学等(高等専門学校、専修学校、各種学校含む)	0	0	0
その他教育機関	0	0	0
家庭児童相談室(福祉事務所)	0	0	0
児童相談所・児童家庭支援センター	0	0	1
児童福祉施設	0	0	0
地域子育て支援センター	0	0	0
その他子育て支援機関	0	0	0
合計	1	0	12

⑥　人権・女性

関係機関・関係者	R01	R02	R03
行政の人権担当部署	0	0	0
男女共同参画センター	0	0	0
婦人相談所・配偶者暴力相談支援センター	0	0	0
合計	0	0	0

⑦　保護

関係機関・関係者	R01	R02	R03
福祉事務所(生活保護担当部署)	8	5	4
ホームレス支援機関	0	0	0
一時保護施設	3	0	0
警察	3	0	0
更生保護施設・自立準備ホーム	0	0	0
地域生活定着支援センター	0	0	0
合計	14	5	4

⑧　生活・金銭・権利擁護

関係機関・関係者	R01	R02	R03
行政の税担当部署	5	2	5
行政の保険・年金担当部署(年金事務所含む)	2	0	1
社会保険労務士	0	0	0
自立・家計改善支援機関	28	0	1
食糧支援関係団体(フードバンク等)	15	5	1
小口貸付(生活福祉資金除く)	9	11	16
社会福祉協議会(生活福祉資金)	0	6	8
社会福祉協議会(日常生活自立支援事業)	4	1	1
成年後見人制度の支援機関	1	0	0
法テラス・弁護士・司法書士	8	6	3
消費生活センター・消費生活相談窓口・多重債務者等相談窓口	3	0	0
合計	75	31	36

⑨　住居

関係機関・関係者	R01	R02	R03
行政の住宅施策担当部局(居住支援協議会)	5	0	2
居住支援法人	0	0	0
不動産・保証関係会社	8	0	6
合計	13	0	8

⑩　その他

関係機関・関係者	R01	R02	R03
他地域の生活困窮者自立相談支援機関	0	0	0
民生委員・児童委員	10	6	9
外国人支援団体・相談窓口	0	0	0
ひきこもり支援機関	0	0	0
ＮＰＯ・ボランティア団体	2	0	0
商店街・商工会等経済団体	0	0	0
町内会・自治会、福祉委員、近隣住民	4	0	1
ライフライン民間事業者(電気・ガス・水道)	0	0	0
保健所(動物・ペットの多頭飼育等)	0	0	0
社会福祉協議会(資金、日常生活自立支援以外)	1	1	5
その他行政の担当部署	0	1	1
家族・親族・その他キーパーソン	17	2	8
その他	1	2	2
合計	35	12	27

・新型コロナウイルの影響での失業や休業に伴い、就労支援のケースが増加したことでハローワークとの連携が進み、月 4 回の巡回相談を実施した。就労支援対象者 38 名がのべ 144 回の面談を実施し、24 名が就労に結び付いた。しかし、巡回相談者へのプランへの転換が図れず、プラン数が伸び悩んだ(1 回きりの相談で、その後に連絡が着かないなど)。また、就労定着も今後の課題であり、就労後の関り(フォロー体制)も重要であると感じている。
・生活応援企画やフードパントリーを実施し、母子世帯への食品提供を積極的に行った結果、子育て支援課や学校、児童相談所、教育委員会などの機関と連携が進んだ。
・居住支援部会立上げに伴い、居住支援協議会及び関係する機関との連携も進み、今後は地元不動産屋及びホテル関係との連携も進めていく方針である。

■自立支援の主な内容

	支援内容
① 就労支援・ 就労準備支援	・生活保護受給者等就労自立促進事業の活用 ・自立相談支援機関による就労支援 （求人情報の提供、今後の生活についての相談支援、ハローワークへの同行、履歴書の作成指導、個別求人開拓、面接対策） ・就労訓練機関（石巻市内）との連携による就労体験の実施 ・直ちに一般就労に就くことが困難な生活困窮者に対してプランに基づき本人の状況に応じて段階的、かつ、一貫した自立のための訓練を支援する
②家計相談支援	・家計収支の均衡が取れていない生活困窮者に対して、家計表を活用し、家計の状況を「見える化」し、家計管理の意欲を引き出す取り組み ・税等の滞納者に対する分納計画の作成支援、収納対策課への同行支援 ・弁護士と連携した債務整理の支援
③生活安定資金等の貸付事業との連携	・家計診断により、一時的に必要な資金の額や償還の見通しを考慮した有効な貸付を行い、家計の自立を促進 ・償還完了までの伴走型支援 （償還時に面談を行い、生活状況を把握）
④住居確保	・車上生活や家族関係の問題、債務整理等に伴う住居喪失等の問題を抱える相談者に対する住居確保支援 （不動産情報や下宿情報の提供・同行等）
⑤社会的孤立等への対応	・保健師等との連携による自殺のおそれがある相談者に対する精神的なケア ・地域包括支援センターや地域の介護事業者等と連携した高齢者及び養護者世帯の見守り ・フードバンクの活用による食糧支援 ・犯罪行為への関与を強要されている疑いがあり、金銭搾取され、自殺リスクのある生活困窮者への支援 （保健師、精神保健福祉士、弁護士、警察、建設課、収納対策課、雇用主等との連携） ・課題解決が困難な相談者に寄り添い、自立に向けて共に考えてゆく伴走支援の実施

■制度理解の促進と関係機関との連携促進のための取り組み等

時期	関係機関	内容
6 月 24 日	大曲まちづくり協議会	生活困窮者の相談対応実例とフードドライブについて
7 月 17 日	野蒜まちづくり協議会	フードドライブの取組みについて
11 月 25 日	宮城県住宅課	居住支援検討会(部会立上げ)に向けた事前打ち合わせについて
3 月 8 日	東松島市民生委員	フードパントリーの取組みについて

■従事者養成研修等の受講状況

自立相談支援事業従事者養成研修(厚生労働省)

研修内容	受講者	期間
家計改善支援	櫻田	前期…免除 後期…リモート研修(随時)
就労支援・就労支援準備	浅野	前期…免除 後期…リモート研修(随時)

その他(主なもの)

研修内容等	受講者	期間・場所
生活困窮者支援推進会議	櫻田	10 月 29 日　リモート研修
就労準備支援事業研修会 (宮古市社協)	くらし安心 ＳＣ職員	12 月 15 日　リモート研修
福祉なんでも相談のための研修会	くらし安心 ＳＣ職員	12 月 16 日・1 月 21 日 矢本西市民センター
居住支援部会会議	及川・宮田	2 月 22 日　リモート研修
生活困窮者自立支援制度	宮田	2 月 25 日　オンデマンド

②家計相談支援事業（東松島市からの受託）

家計収支の均衡が取れていない生活困窮者に対して、以下の支援を行った。

・家計表を活用し、家計の状況を「見える化」し、家計管理の意欲を引き出す取り組み
・税等の滞納者に対する分納計画の作成支援、収納対策課への同行支援
・弁護士と連携した債務整理の支援

法に基づく事業等利用は 3 件。そのほかに自立相談支援事業の中で随時家計表作成等の支援を行った。

③就労準備支援事業（東松島市からの受託）

直ちに一般就労に就くことが困難な生活困窮者に対して、以下の支援を行った。

・本会の事務作業から切り出し可能な業務を抽出し、色々な経験をする中で働くことのイメージを持つと共に、決められた日時に来ることで生活リズムを整え、人との関りに慣れて、コミュニケーション能力を高められるよう支援した。

法に基づく事業等利用は 1 件。そのほかに自立相談支援事業の中で随時履歴書の作成支援等を行った。

④生活困窮者の共助の基盤づくり事業(フードドライブの周知と連携)

「フードドライブ」の実施

・令和 3 年 11 月 21 日　「復興感謝　第 1 回東松島市産業祭」にブース出展

・令和 3 年 12 月 10 日　市庁舎内でフードドライブ実施

・老人福祉センター及び被災者サポートセンターにボックス常設

・自治会や団体単位でフードドライブに取り組む事例も見られる。

(例)赤井下区自治会、ＪＡいしのまき鳴瀬婦人部

赤井下区自治会より食品提供

自治会で「フードドライブ実施」

市役所で「フードドライブ実施」

⑤「参加支援」推進のための連携・協働する場の整備

コロナ禍で車上生活や家族関係の問題、債務整理等に伴う住居喪失等の問題を抱える相談者が増えている現状を踏まえ、宮城県居住支援協議会(宮城県土木部主催)の協力を得て、東松島市居住支援部会を設置し、地域における住宅確保要配慮者の実態や住まいに関する課題について、行政や不動産会社、地域で活動している居住支援団体等との意見交換等を行い、今後の連携体制強化の基盤を作った。しかし、参加支援において、居住支援と並んで重要な分野である就労支援の「連携・協働の場」づくりについては着手することができず、次年度に課題を残した。

詳細は、多機関の協働による包括的支援体制構築事業を参照。

⑥金銭教育プログラムの実施

・新生銀行と連携し、「東松島高校」で今年度も導入(1 年生が対象で昼の部 50 名・夜 8 名)。コロナ禍のため、オンラインでの受講となった。

・以前から「石巻西高校」にも導入を提案しているが、コロナ禍の状況から検討中である。

⑦生活用品等支援事業（緊急を要する要援護者への物品給付）の実施（自主事業）

・食料等の購入が困難な生活困窮者に対し、生活物資の給付と自立に向けた支援に取り組んだ。

給付対象内容	数	概要
生活困窮者への援助物資の給付	230	フードドライブ及び石巻フードバンク等より提供された食糧等を給付

「フードパントリー」の実施

・生活応援企画（7 月・12 月に夏冬休み前に母子世帯を中心に食品提供）やフードパントリーを実施し（3/15 日に 60 世帯に提供）、新規相談や母子世帯への食品提供を積極的に行った。子育て支援課や学校、児童相談所、教育委員会などの機関と連携が進み、相談対応に繋がったケースもあった。来期以降も開催を検討している。

⑧火災見舞金支給事業の実施（自主事業）

・住宅火災に見舞われた世帯に対し、本会規程による見舞金を支給した。

・当センター連携先の市内企業（遺品整理業）から生活家電（冷蔵庫や洗濯機を含め 17 点）の無償提供をいただいた。

見舞金	数	本会支給分	宮城県共同募金会支給分
火事見舞金（全焼）	4	1 件　20,000 円	1 件　10,000 円

(2)多機関の協働による包括的支援体制構築事業(市委託業務)

①多機関の協働による包括的支援体制構築事業

ア　相談者等に対する支援の実施

・個別支援では、多問題を抱えている世帯や認知症高齢者の問題、8050 問題、精神疾患による地域での孤立、それらの問題による地域との関係性の悪化等の問題がみられた。

・介護サービスにも障害サービスにもつながらない、制度の狭間で支援が必要な方の相談もあり、制度活用ができないため、東松島市社会福祉法人連絡会や地域住民の協力を得て支援をしたケースもあった。

(1)相談受付状況

	年間
新規相談受付数	66
継続相談受付数	49
合計	115

(2)支援実施延べ回数

相談内容	新規	継続	年間
電話相談・連絡	147	232	379
訪問・同行支援	5	35	40
面談	8	17	25
所内会議	0	3	3
他機関との会議	8	23	31
他機関との電話照会・協議	19	19	38
その他	3	2	5
合計	190	331	521

※その他…退院時の移送支援、その他の移送支援、申請書再発行支援等

(3)相談経路

	新規	継続	年間
本人(来所)	4	6	10
本人(電話・メール)	2	2	4
家族・知人(来所)	3	2	5
家族・知人(電話・メール)	1	4	5
関係機関・関係者紹介	126	164	290
その他	2	8	10
合計	138	186	324

※その他…訪問、地域住民、業者等

(4)主な相談領域

領域	新規	継続	年間
子供	0	1	1
障害者	5	8	13
高齢者	43	23	66
母子・父子	1	0	1

外国人	0	0	0
その他	18	18	36
合計	67	50	117

※その他…一般、高齢者と障害のある子ども世帯、介護保険第 2 号保険者、若者、8050 世帯、多問題世帯等

(5)相談内容(複数選択)

相談内容	新規	継続	年間
病気や健康、障害のこと	38	19	57
住まいについて	6	2	8
収入・生活費のこと	14	10	24
家賃やローンの支払いのこと	2	1	3
税金や公共料金等の支払いについて	3	5	8
債務について	2	2	4
仕事探し、就職について	4	5	9
地域との関係について	4	5	9
家族との関係について	7	5	12
介護のこと	10	6	16
ひきこもり・不登校	2	0	2
ＤＶ・虐待	2	0	2
食べるものがない	1	0	1
その他	15	18	33
合計	110	78	188

※その他…キーパーソンがいない・緊急連絡先がない、判断能力はあるが体が動けない方の金銭管理、今後の支援体制の問題、安否確認ができない、ごみ出しができない、制度利用につながらない、近隣トラブル、退院時の移送支援等

(6)支援機関等への連携

連携先	新規	継続	年間
子育て支援課	0	0	0
健康推進課	17	33	50
高齢障害支援課	2	8	26
障がい者相談支援事業所	6	20	24
地域包括支援センター	55	62	117
くらし安心サポートセンター	20	40	60
医療機関	10	7	17
その他	97	175	272
合計	207	345	552

※その他…被災者サポートセンター、市建築住宅課、市生活保護係、市総務課、ケアマネジャー、民生委員、社協ＣＳＷ、まもりーぶ、ヘルパー、自治会長、弁護士、施設相談員、居場所支援機関、若者支援機関、石巻市まるごと相談、副自治会長、ホープ、からころステーション、地域住民、こころのケアセンター、デイサービス、ショートステイ等

イ　地域における相談支援機関等との連携体制の構築

■個別ケース会議の開催・参加状況

・個別ケース会議を開催した内容としては、多問題を抱えている世帯や認知症高齢者の問題、8050 問題、精神疾患による孤立、それらの問題による地域との関係性悪化等があった。

・他機関が主催するケース会議にも参加し、認知症世帯の問題や身寄りがいない、保証人がいないなど権利擁護支援の必要性も把握することができた。

・個別支援においても社協ＣＳＷに会議等に参加してもらうことで、相談がつながれ、地域から相談をつないでもらうこともあり、社協ＣＳＷと連携して困りごと相談への対応ができた。

・高齢や障害等の支援機関だけでは支援困難なケースが多くみられ、地域も含めた支援体制の構築が課題であると感じた。

	年間回数
個別ケース会議　開催	24 回
個別ケース会議　参加	17 回
合計	41 回

■相談支援機関等との連携会議等の開催・参加状況

・他機関の会議に参加したことで、コロナ禍による生活困窮者の増加や支　援機関が抱える課題等も把握することができた。

・複合的な課題を抱える世帯等の把握や支援が必要な方を支援機関につなぐなど、多機関と連携協働して対応できるように関係性の構築を図った。

・子どもや若者支援機関等との連携が不足していたのでネットワーク構築を図りたいと感じた。

会議等	年間回数
くらし安心・東部包括連携会議	22 回
生活困窮者自立支援事業における支援調整会議	7 回
日常生活自立支援事業(まもりーぶ)利用判定会議	7 回
第 2 層協議体　赤井	3 回
第 2 層協議体　矢本西	2 回
第 2 層協議体　小野	1 回
石巻圏域子ども・若者支援地域協議会	1 回
その他の会議等(民協定例会、石巻地域不登校・ひきこもり支援者のつどい、自治会役員会、中部・西部包括会議等)	14 回
合計	57 回

②包括的な支援体制づくりのための連携・協働する場の整備

■相談支援包括化推進会議の開催

・様々な支援機関等と会議をしたことで、関係機関の顔が見えて連携がし易くなった。

・それぞれの機関が抱えているケースの課題は、一つの支援機関だけでは解決困難な課題であり、大変な状況になっていることも把握できた。

・それぞれの支援機関が、市や他機関に気軽に相談できていない状況も見えてきた。

・困っている相談者を中心として支援策を検討し、支援機関ももっと広く関わるべき機関との連携ができるように今後も継続していく必要性を感じた。

・サポートセンターと連携して年度末で訪問終了となる災害公営住宅の入居者で心配な状況にある方の情報交換会を多機関（サポートセンターＬＳＡ、社協ＣＳＷ、東部・中部・西部地域包括支援センター、くらし安心サポートセンター）と行った。
・個別の支援会議だけではなく、地域での会議に参加したことで、その地域での状況や自治会の活動内容がわかり、また、社協ＣＳＷと連携できたことで詳しい地域状況がみえてきた。
・個別の支援においても社協ＣＳＷに会議等に参加してもらうことで、相談がつながれ、地域から相談をつないでもらうこともあり、社協ＣＳＷと連携して困りごと相談への対応ができた。

会議等	年間回数
世帯アセスメント支援検討会議	5 回
災害公営住宅サポート担当者会議	6 回
東松島市社会福祉法人連絡会 「福祉なんでも相談ネットワーク会議・困難事例支援検討会議」	3 回
多機関ネットワーク会議 (3 包括、くらし安心、社協ＣＳＷとのネットワーク会議)	3 回
地域支え合い会議	23 回
民生委員との情報交換会(赤井南西地区、大塩地区)	5 回
七十七銀行との情報交換会	2 回
主任児童委員とスクールソーシャルワーカーとの情報交換会	3 回
合計	50 回

■その他
・関係機関への周知等の開催

日付	概要	参加者名
10 月 15 日	第 1 回東松島市社会福祉協議会・大曲地区自治会健康福祉部会懇談会 「福祉なんでも相談窓口」周知	自治会役員、民生委員、 福祉推進員、社協
10 月 19 日	横沼地区地域支え合い会議 「福祉なんでも相談窓口」周知	自治会役員、民生委員、 東部包括、社協
10 月 27 日	赤井南新町地区地域支え合い会議 「福祉なんでも相談窓口」周知	自治会役員、民生委員、 東部包括、社協
11 月 25 日	多機関の協働による包括的な支援体制構築事業の説明とネットワーク構築、居住支援の連携について協力依頼	宮城県居住支援協議会事務局(宮城県土木部住宅課)

■東松島市社会福祉法人連絡会
○第 1 回幹事会の開催(7 月 26 日、老人福祉センター)
〈協議事項〉
(1)連絡会役員候補者の推薦について
(2)令和 2 年度事業報告について
(3)令和 3 年度事業計画について
(4)総会の開催方法及び日程について
参加者：市内 6 法人、市保健福祉部、社協事務局　計 17 名参加

○総会の開催(8 月 3 日書面決議可決。コロナ禍により、集合型での開催が難しいため書面決議で実施)

〈協議事項〉

議案第 1 号　東松島市社会福祉法人連絡会役員の改選について

議案第 2 号　令和 2 年度事業報告について

議案第 3 号　令和 3 年度事業計画について

表決結果：全ての議案について、過半数の賛成をもって原案可決された。

※新役員名簿(任期:令和 3 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日)

役職	所属	職名	氏名
会長	社会福祉法人東松島市社会福祉協議会	会長	阿部　英一
副会長	社会福祉法人矢本愛育会	理事長	菊地　昌三
副会長	社会福祉法人慶和会	理事長	熱海　義信
副会長	社会福祉法人ことぶき会	理事長	伊藤　寿志
監事	社会福祉法人やすらぎ会	常務理事	田尻　清志
監事	社会福祉法人東松島福祉会	理事兼施設長	土井　孝博

○全国経営者協議会北海道・東北ブロックセミナーにて実践報告

・10 月 12 日、全国経営者協議会が主催するセミナーに木村佳美相談支援包括化推進員が参加し、「東松島市における社会福祉法人連携による地域における公益的な取組みの推進について」実践事例の発表を行った。

○東松島市民生委員・児童委員協議会での事業説明

・11 月 9 日、民生委員・児童委員会 11 月定例会において、木村佳美相談支援包括化推進員が参加し、「東松島市社会福祉法人連絡会の取組みについて」実践事例発表を行い、民生委員との連携・協働の必要性について理解を求めた。

○気仙沼市本吉地区小規模法人連携事業協議会

・令和 4 年 2 月 16 日、「“はぁ～とふるりんく本吉”」から視察(オンライン)の要請があり、「東松島市社会福祉法人連絡会の取組みについて」活動内容や取組みについて木村佳美相談支援包括化推進員が参加し、意見交換を行った。

参加者：気仙沼市本吉総合支所保健福祉課、同市社会福祉協議会本吉支所、
社会福祉法人、医療法人、ＮＰＯ法人、株式会社等、11 名参加

○社会福祉法人連携で取組んだ個別支援の事例　≪資料編参照≫

・社会福祉法人連絡会として初めて、解決困難な課題を抱える方の個別支援に連携して取組んだ。

■東松島市居住支援協議会(新規)

○第 1 回東松島市居住支援部会(オンライン開催)

開催日：令和 4 年 2 月 22 日

内　容：・東松島市居住支援部会の設置について

・住宅確保要配慮者向け賃貸住宅(セーフティネット住宅)及び宮城県居住支援協議会の取組みについて・東松島市社会福祉協議会の取組みについて

・意見交換

参加者：宮城県居住支援協議会事務局（宮城県土木部住宅課）、宮城県社会福祉協議会、宮城県宅地建物取引業協会、全日本不動産協会宮城県本部、全国賃貸住宅経営者協会連合会宮城県支部、パーソナルサポートセンター、石巻復興支援ネットワーク、東松島市福祉課生活保護係、東松島市建築住宅課住宅係、くらし安心サポートセンター、東松島市社会福祉協議会等、計 15 名参加。

③福祉なんでも相談窓口事業

・東松島市社会福祉法人連絡会による「地域における公益的な取組」として、住民が身近な場所で福祉に関する相談をすることができる窓口を開設

【設置場所】

施設名	法人名
1　ケアハウス花いちもんめ	慶和会
2　特別養護老人ホームやもと赤井の里	東松島福祉会
3　東まつしま地域活動支援センターカノン	矢本愛育会
4　障害者日中活動施設ぎんの星	矢本愛育会
5　特別養護老人ホーム矢本華の園	矢本愛育会
6　障害者日中活動支援施設共生園	矢本愛育会
7　ケアハウスはまなすの里	ことぶき会
8　特別養護老人ホーム不老園	やすらぎ会
9　東松島市老人福祉センター	東松島市社会福祉協議会

・相談員間のネットワークを構築するため、コロナ禍という状況ではあったが、できることを企画し、集まる事が困難な時はオンラインを活用する等、工夫しながら以下の取組を実施した。

○第 1 回　福祉なんでもネットワーク会議

・10 月 29 日、市内 6 法人、東部包括、くらし安心、社協計 10 名の参加のもと、第 1 回ネットワーク会議を開催し、令和 2 年度相談窓口実績報告及び法人連絡会の個別事例の取組みについて意見交換を行った。

○福祉なんでも相談のための研修会

・第 1 回研修会（令和 3 年 12 月 16 日）の開催（オンライン併用）
ＮＰＯ法人ふくし@ＪＭＩ小湊純一氏を招き、「高齢者・障害者の権利と自立支援（意思決定支援）について～事例を通して本人主体の支援につなげる～」をテーマに、相談支援の基本について学んだ。市内 6 法人、3 包括、くらし安心、障害者相談支援事業所、社協、市職員等、計 29 名が参加した。

・第 2 回研修会（令和 4 年 1 月 21 日）の開催
ＮＰＯ法人ふくし@ＪＭＩ小湊純一氏を招き、「事例勉強会～事例を通して成年後見制度を理解する～」をテーマに成年後見制度について学んだ。市内 6 法人、3 包括、くらし安心、障害者相談支援事業所、社協、市職員等、計 26 名参加した。

○介護職員等のストレスケア研修会

・令和 4 年 3 月 16 日未明に発生した福島県沖地震の影響のため、開催中止とした。

④部門間横断の相談支援体制づくり

・社協全体の取り組みとして部門間連携の強化を図るため、部門横断で職員が参加する「社協内まるごと連携会議」を開催した。令和 3 年度は、「地域福祉推進基礎組織」である支部への支援のあり方について協議した。詳細は、「支え合い活動基盤整備事業」を参照。

⑤行政との「パートナーシップ」の醸成

・「包括的な支援体制」に関する本会の取り組みについての行政の理解促進のため、以下の研修会を実施した。

○令和３年度東松島市社会福祉事務所研修会の実施

開催日：８月６日

内　容：「包括的な支援体制の構築に向けた多機関・多職種連携について」

参加者：市福祉課・高齢障害支援課・健康推進課、地域包括、障害者相談支援事業所等、28 名参加

⑥その他

■新型コロナウイルスワクチン接種手続き等困難者支援事業（新規）

・新型コロナウイルスワクチン接種に際し、病気や障害等により、ワクチン接種の予約や予診票の記入が困難な方を対象に、民生委員、地域包括支援センター、障害相談事業所等と連携し、手続等の個別の支援を行った。

○事業説明と協力依頼

①4 月 19 日、新型コロナウイルスワクチン接種推進室（保健相談センター内）とワクチン接種における手続きの支援について打ち合わせ。

②4 月 28 日、やもとケアマネネットワーク、東松島市社会福祉法人連絡会に出向し、新型コロナウイルスワクチン接種における手続き支援について情報提供と協力依頼を行った。

③4 月 30 日、中部地域包括支援センター、西部地域包括支援センターに出向し、新型コロナウイルスワクチン接種における手続き支援について情報提供と協力依頼を行った。

④5 月 6 日、ひまわりデイサービスセンター障害者相談支援室、障害者相談支援事業所とも、東まつしま地域活動支援センターカノンに出向し、新型コロナウイルスワクチン接種における手続き支援について情報提供と協力依頼を行った。

⑤5 月 12 日、東松島市民生委員児童委員協議会に出向し、新型コロナウイルスワクン接種における手続き支援について情報提供と協力依頼を行った。

○新型コロナウイルスワクチン接種（1 回目・2 回目）手続き等支援結果

相談者数：54 名　　支援者数：50 名（うち移送支援 6 名）

※民生委員や地域包括支援センター、ケアマネジャー等から相談がつながれることが多かった。

○新型コロナウイルスワクチン接種（3 回目）手続き等支援結果

相談者数：35 名　　支援者数：33 名

※3 回目接種開始当初は、予約電話がつながらないという苦情が多数よせられた。現在は、難聴や高齢等で手続きが困難な方の相談があり、支援を行っている。

■その他

○宮城県社会福祉協議会令和３年度コミュニティソーシャルワーク実践研修会にて実践報告

開催日：1 月 18 日

内　容：「個別支援から地域支援へつなぐ多機関多職種連携」

参加者：市町村、市町村社協、市町村地域包括支援センター、社会福祉法人、ＮＰＯ法人等、59 名参加

(3)生活福祉資金貸付事業(県社協委託業務)

①生活福祉資金貸付事業の実施

・低所得者、障害者または高齢者に対する生活福祉資金の貸付と相談支援並びに償還に向けた支援を行った。

取扱状況	相談受付数	償還指導数	本年度県社協への申請数
	3	2	0

(4)生活安定資金貸付事業

①生活安定資金貸付事業の実施

・居住する低所得世帯に対する必要な生活資金の貸付を行い、自立更生と生活の安定を図った。

②一時援護資金貸付事業の実施

・生活保護申請中の世帯に対し、小口の資金の貸付と必要な相談支援を行い、保護決定までのつなぎ資金の貸し付けを行った。

	本年度貸付金額	本年度回収金額	本年度末貸付残高
生活安定資金	788,000 円 (18)	849,500 円	2,811,500 円
一時援護資金	290,000 円 (13)	290,000 円	

生活安定資金の債権管理

・長期滞納者に対する督促状の送付

令和 4 年 1 月 7 日　33 件(うち居所不明により返送　8 件)

令和 4 年 2 月 15 日　33 件(うち居所不明により返送　4 件)

・債務者及び連帯保証人の死亡・所在確認の調査

債務者及び連帯保証人の死亡・所在確認のため、市に戸籍謄本及び住民票等の交付を申請した。(死亡者 13 名、所在不明者 35 名)

・督促状送付及び死亡・所在確認の調査結果を精査。一部、返済再開の債務者あり。

※今後、調査結果に基づき償還困難者等を特定し、生活安定資金運営委員会を開催する予定。

(5)日常生活自立支援事業(県社協委託業務)

①日常生活自立支援事業(まもりーぶ)の実施

■相談受付状況

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
新規受付数(社協扱い)	5 人	1 人	0 人	0 人	6 人
利用者総数	12 人	5 人	6 人	0 人	23 人

【契約に基づく利用者への具体的な援助や支援】

主な支援内容　福祉サービスに関する相談と助言・郵便物等の確認・日常的な金銭の管理・諸費用の支払い・年金や手当の受取・書類等の預かり

利用者からの預託物品　通帳：26 通　印鑑：24 本

支援員数　4 人(委嘱)

まもりーぶ利用判定会議出席…7 回

(6)生活復興支援資金貸付事業(県社協委託業務)

①生活復興支援資金貸付事業の実施

■職員配置状況

生活福祉資金貸付相談員　常勤1人(生活福祉資金貸付事業と一体的に実施)

■特例緊急小口資金償還状況(東日本大震災関連)

・貸付総数：1,698
・貸付総額：262,880,000円
・償還実績：1,255
・完済率：74.74%(宮城県全体66.34%)
・令和3年度中の完済者：3人

②新型コロナウイルス対応生活福祉資金特例貸付事業の実施

緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付の実施

・「新型コロナウイルス」の影響を受け、収入の減収や失業等により生活に困窮している世帯等を支援するため、当座の生活維持費用及び、生活再建までの必要な生活費用としての貸付制度。※受付期間は令和2年3月25日から令和8月31日まで

〔貸付相談支援等の状況(令和4年3月末日現在)〕

■緊急小口資金(特例)貸付

令和3年度実績			これまでの貸付累計
相談件数	申込件数	申込金額	(令和2年3月25日～令和4年3月末日)
114	93	15,450,000	申込件数223/ 申込金額39,250,000

■総合支援資金(特例)貸付

	令和3年度実績			これまでの貸付累計
	相談件数	申込件数	申込金額	(令和2年3月25日～令和4年3月末日)
新規	65	55	25,500,000	申込件数86 / 申込金額46,150,000
延長貸付	2	2	1,200,000	申込件数15 / 申込金額 8,500,000
再貸付	19	17	9,180,000	申込件数20 / 申込金額10,680,000

■緊急小口資金(特例)貸付と総合支援資金(特例)貸付　合計

令和3年度実績			これまでの貸付累計
相談件数	申込件数	申込金額	(令和2年3月25日～令和4年3月末日)
200	167	51,330,000	申込件数344/申込金額104,580,000

(申込者の状況)

・個人事業主等(建設土木業・電気工事業・はり灸・塗装業・飲食業等(居酒屋、スナック含む)・衣類販売業　等)
・建設業等については、「新型コロナウイルス」の影響により、元請けが一時作業の休止や新規事業の見送り等により、受注が減少した事により、個人事業主への影響による減収。また、飲食業等については、県や市からの休業要請や客の減少による減収となった事が、主な申請の要因となっている。
・雇用者等勤務状況(土木関連会社・飲食店・衣類販売店・タクシー会社・パチンコ店・ホテル等)

・相談、申請された方の殆どが、日給月給、時間給等による勤務体系にあり、「新型コロナウイルス」の影響により、会社の受注等の減少や勤め先の休業等より、勤務日数を調整され出勤日数の減少により減収となり申請された方や、勤務先での今後の景気の回復の見通しが立っていない事から、離職され求職活動をしているが、就労までに至っていない方が生計の維持困難となっている事が、主な申請の要因となっている。

３．在宅介護事業拠点区分

(1)訪問介護事業

①訪問介護事業(介護保険サービス) の実施

②訪問介護事業(障害福祉サービス) の実施

③訪問介護事業(産前産後ヘルパー事業)の実施

			延べ利用者数		月平均利用者数		
			人数	構成比	前年度 (A)	今年度 (B)	差異 (B-A)
介護保険	介護給付	要介護５	19	2.7	1.3	1.6	0.3
		要介護４	62	8.8	4.3	5.2	0.8
		要介護３	2	0.3	1.0	0.2	△ 0.8
		要介護２	95	13.6	6.2	7.9	1.8
		要介護１	139	19.8	11.3	11.6	0.3
		小計	317	45.2	24.2	26.4	2.3
	予防給付	要支援２	164	23.4	12.5	13.7	1.2
		要支援１	205	29.2	15.3	17.1	1.8
		事業対象	15	2.1	1.0	1.3	0.3
		小計	384	54.8	28.8	32.0	3.3
	計		701	100.0	52.9	58.4	5.5
障害福祉	身体障害		57	24.9	4.2	4.8	0.6
	精神障害		119	52.0	11.8	9.9	△ 1.9
	地域生活支援		53	23.1	2.6	4.4	1.8
	計		229	100.0	18.6	19.1	0.5
産前産後ヘルパー			6	2.7	0.6	0.5	△ 0.1
ほっとサービス			87	8.8	5.9	7.3	1.3
合計			1,023	0.3	78.0	85.3	7.3
サービス提供時間			9153		799	763	△ 36.0
ヘルパー常勤換算数					6.4	7.2	0.8
ヘルパー１人当たり	利用者数				12.2	11.9	△ 0.3
	提供時間				125	106	△ 19.0

(2)居宅介護支援事業

①居宅介護支援事業の実施

		延べ利用者数		月平均利用者数		
		人数	構成比	前年度 (A)	今年度 (B)	差異 (B-A)
介護給付	要介護5	90	5.0%	7.1	7.5	0.4
	要介護4	163	9.1%	10.9	13.6	2.7
	要介護3	190	10.6%	15.3	15.8	0.6
	要介護2	330	18.4%	24.6	27.5	2.9
	要介護1	414	23.1%	34.5	34.5	0.0
	小計	1,187	66.1%	92.3	98.9	6.6
予防給付	要支援2	396	22.0%	31.8	33.0	1.2
	要支援1	211	11.7%	20.3	17.6	△ 2.7
	事業対象	2	0.1%	0.9	0.2	△ 0.8
	小計	609	33.9%	53.0	50.8	△ 2.3
合計		1,796	100.0%	145.3	149.7	4.3
ケアマネ常勤換算数				4.0	4.0	0.0
ケアマネ1人当たり利用者数				29.7	31.1	1.4

※1人当たり利用者数の算定:予防給付の利用者数は2分の1でカウントしている。

(3)新型コロナウイルス感染対策の強化(在宅介護事業共通)

①新型コロナウイルス感染対策の強化

・勤務時間中は、事務室、訪問先を問わず、常時マスク着用や手指消毒等の対策を職員に徹底し、利用者やその家族に対しては、訪問前に利用者及び家族の体温や体調を確認することについて理解を得るよう働きかけた。

・遠方から家族が帰省する場合など状況によっては、感染対策のレベルを上げてガウンを着用してサービス提供を行ったり、居宅介護支援事業の訪問時間の短縮化を図るなど、感染状況に応じて柔軟な対応を行った。

・マスク、消毒液、ガウン等については、不足が生じないように計画的に備蓄を進めた。

４．被災者支援事業拠点区分

(1)被災者サポートセンター運営事業(市委託業務)

①寄り添い型被災者生活支援の実施

・災害公営住宅を対象とした戸別訪問を継続的に実施することで、生活課題を早期に発見し、関係機関につなぎ、連携して対応することができた。今年度も新型コロナウイルス感染の収束には至らず、インターホン越しの対応や面会時には一定の距離を保ち短時間での面談に終始した。

・民間賃貸住宅の火災により被災され、災害公営住宅に転居した住民に対し、福祉課からの要請に基づき３ヶ月ほど訪問活動を行った。

・令和４年３月 16 日の福島県沖を震源とする地震発生の翌日から高齢独居者や高齢世帯を中心に怪我や被害の状況の確認を行った。

■令和３年度災害公営住宅訪問世帯数(473)…令和３年 12 月１日現在

赤　井…柳の目東(33)、柳の目西(15)

矢本東…あおい１丁目(51)、２丁目(58)、３丁目(44)、町浦(15)

矢本西…小松南(80)、矢本西(23)、沢田前(22)

小　野…小野駅前東(14)、小野駅前南(11)

野　蒜…野蒜ヶ丘１丁目(5)、２丁目(48)、３丁目(39)

宮　戸…室浜(9)、大浜(3)、月浜(3)

■災害公営住宅訪問数

時期	矢本東地区（赤井・矢本東）			矢本西地区（矢本西）			鳴瀬地区（小野・野蒜・宮戸）			訪問	面会	不在
	訪問数	面会数	不在数	訪問数	面会数	不在数	訪問数	面会数	不在数	合計	合計	合計
４月	485	341	144	312	204	108	331	233	98	1,128	778	350
５月	450	334	116	296	181	115	322	221	101	1,068	736	332
６月	467	337	130	306	193	113	325	223	102	1,098	753	345
７月	447	320	127	287	182	105	284	203	81	1,018	705	313
８月	430	307	123	265	170	95	274	198	76	969	675	294
９月	460	299	161	269	164	105	284	205	79	1,013	668	354
10 月	427	299	128	272	168	104	256	190	66	955	657	298
11 月	429	298	131	269	152	117	277	193	84	975	643	332
12 月	467	332	135	267	151	116	278	182	96	1,012	665	347
１月	421	295	126	258	167	91	260	182	78	939	644	295
２月	423	279	144	254	147	107	260	187	73	937	613	324
３月	541	390	151	335	206	129	273	194	79	1,149	790	359
合計	5,447	3,831	1,616	3,390	2,085	1,305	3,424	2,411	1,013	12,261	8,327	3,934

■要望・相談数

時期	サポートセンター				地域包括	くらし安心	弁護士相談	合計
	健康生活支援	住環境	その他	小計				
4 月	13	0	0	13	2	10	0	25
5 月	3	0	0	3	6	8	1	18
6 月	14	0	0	14	12	18	1	45
7 月	1	0	0	1	5	6	1	13
8 月	6	0	0	6	3	6	0	15
9 月	1	0	0	1	4	6	1	12
10 月	5	0	0	5	3	4	0	12
11 月	4	0	0	4	3	10	0	17
12 月	1	0	0	1	3	8	0	12
1 月	4	0	0	4	7	7	0	18
2 月	9	0	0	9	8	6	0	23
3 月	4	0	0	4	6	0	0	10
合計	65	0	0	65	62	56	4	220

■生活支援相談員が関係機関につないだ数

つなぎ先	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健康推進課	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	5
福祉課	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
建築住宅課	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
環境課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
包括支援センター	1	2	4	1	1	1	3	2	0	1	7	4	27
くらし安心ＳＣ	0	0	2	0	1	0	0	1	1	1	0	0	6
福祉総合相談	10	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
ケアマネジャー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障がい者支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住宅管理センター	1	0	1	0	3	0	1	0	0	2	1	0	9
合計	13	3	14	1	6	1	5	4	1	4	9	4	65

■関係機関との連絡調整会議

会議等名	開催回数	検討ケース数	従事者数
公営住宅サポート担当者会議	6	39	97
包括及び関係機関との情報交換	7	471	44
ケース検討会	5	5	34
訪問終了世帯担当民生委員との打合せ	6	95	22
あおい地区見守り部会会議	4	50	67
防災科学研究所との打合せ	15	0	90
ＬＳＡ会議	20	0	95
その他連絡調整会議	12	0	115
合計	75	660	564

②復興支援ボランティアの受け入れ調整と派遣（コロナ・中止）

③その他

■被災者サポートセンター事業縮小に伴う次年度に向けての対応協議

・訪問終了地域とそれに伴うＬＳＡの配置縮小

令和 4 年 1 月 11 日に令和 4 年度の業務執行体制や事業内容等について、福祉課と協議を行い、令和 3 年度以降の個別訪問対象の見直し基準（令和 3 年 2 月 8 日）により、柳の目東（33 世帯）、沢田前（22 世帯）、小野駅前東（14 世帯）、小野駅前南（11 世帯）、室浜（9 世帯）、大浜（3 世帯）、月浜（3 世帯）合計 95 世帯を訪問終了とし、それに伴い従事する職員体制（ＬＳＡ）については、現行の 4 人体制から 2 人体制と縮小することとした。

・訪問終了する災害公営住宅入居世帯への周知

令和 3 年度で訪問終了する世帯に対し、令和 4 年 1 月 18 日付けの通知により、訪問活動の終了について対象世帯へお知らせした。なお、今後、困りごとがある際は、引き続き社協生活復興支援センターで相談受付することを文面に加えた。

・相談支援機関への情報提供

担当地区民生委員 6 人に訪問終了に伴う高齢者等の生活状況について情報を提供した（2 月 9 日から 2 月 17 日まで）。また、合わせて東部・中部・西部の各地域包括支援センター、東松島市営住宅管理センターへ情報提供を行った。

・定期的に自主開催しているあおい地区見守り部会の会議には、生活支援相談員やＣＳＷが出席し、情報共有に努めた。

・社協としては、引き続き、本会の生活支援コーディネーターや各専門職と連携し、地域での支え合い活動（見守り支援など）につなげていくことを申し合わせた。

５．地域包括支援センター事業拠点区分

・高齢者の総合相談窓口として、介護予防ケアマネジメント業務、総合相談支援事業、虐待対応等の権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業、認知症総合支援事業、一般介護予防事業、指定介護予防支援事業等に取り組んだ。

・令和３年度から地域包括支援センターが市内３か所となり、東部包括では赤井・大曲地区の担当。職員数は5→4人に変更となった。

・総合相談支援業務においては、身体的な能力の低下から介護保険につながるケースが多かったが、訪問すると本人以外の家庭環境面の課題（経済的な困窮、8050 問題など）がある多問題ケースだったことも少なくなかった。社協くらし安心、ＣＳＷ、包括化推進員と情報共有・連携を意識して対応にあたった。

・今年度は七十七銀行と連携し、出前相談会を銀行で開催した。各種申請用紙へ何度も書き込む方やＡＴＭ操作を繰り返すなど認知症状と思わしい行動が散見された。福祉分野とは違う機関との連携がこれまでは無かったので、今回をきっかけに他分野との連携を検討していきたい。

・また、赤井・大曲 15 か所の百歳体操へ認知症支援推進員と訪問し、認知症支援推進員活動の周知や包括出前講座などのＰＲを行った。地域包括支援センターの認知度は約半数くらいとまだまだ知られていないことを痛感したのと、これまで立ち上げ支援、体力測定での訪問機会はあったが、以降は訪問することがほとんどなく、実態把握が足りていなかったことが分かった。令和４年度はＰＲ、実態把握で訪問する機会を設けたい。

・3 包括のうち、西部包括が初めての事業になった令和３年度は、行政からの提案もあり、事業・運営などについて中部・東部包括が助言や相談受付できる体制をとった。また、3 包括の職員の交流を図る機会をもち、お互い気軽に相談し合える関係を築けた。

(1) 地域包括支援センター事業（市委託業務）

〈職員配置数・体制〉

職種	勤務体制・配置数
看護師（保健師に準ずる者）	常勤１人
社会福祉士	常勤２人
主任介護支援専門員	常勤１人

①包括的支援事業

ア　介護予防ケアマネジメント

介護予防ケアマネジメント業務（新しい介護予防・日常生活支援総合事業）

	給付管理数	新規（直営）	継続（直営）	新規（委託）	継続（委託）
事業対象者	49	1	16	0	32
訪問型サービスＣ	0	0	0	0	0
要支援１	507	3	159	3	342
要支援２	191	0	62	4	125
合計	747	4	237	7	499

イ　総合相談支援業務

〈相談数〉

		相談延べ数	平日		夜間・休日	
			新規	継続	新規	継続
相談方法	訪問	704	19	678	0	7
	来所(面接)	202	42	154	1	5
	電話	2591	102	2421	0	68
	その他(メール等)	137	4	131	0	2
合計		3634	167	3384	1	82

〈総合相談継続関与ケース総数〉

総合相談ケース数	総数	新規	継続	終結
	418	152	159	107

〈相談経路〉

内訳	相談延べ数	新規	継続
本人	919	27	892
家族	600	41	559
親戚	202	8	194
介護支援専門員	416	7	409
介護サービス事業所	270	2	268
障害者相談支援事業所	77	2	75
生活支援コーディネーター	80	4	76
くらし安心サポートセンター	62	8	54
被災者サポートセンター	25	2	23
相談支援包括化推進員(福祉総合相談担当)	17	1	16
市役所	311	28	283
医療機関	210	10	200
民生委員	193	12	181
自治会関係者	26	3	23
近隣者	30	6	24
その他	196	7	189
合計	3634	168	3466

〈相談内訳（重複あり)〉

内訳	相談延べ数	新規	継続
介護に関すること(介護方法等)	39	7	32
介護保険に関すること	1010	76	934
介護予防・生活支援に関すること	347	16	331
保健・健康相談	141	7	134
医療に関すること	324	21	303

認知症に関すること(若年性以外)	218	9	209
若年性認知症に関すること(65 歳以下)	1	0	1
生活に関すること	2185	64	2121
施設入所に関すること	223	7	216
虐待に関すること	40	1	39
権利擁護に関すること	171	2	169
介護者の離職防止に関すること	0	0	0
その他	37	5	32
合計	4736	215	4521

ウ　権利擁護業務

（ア）　権利擁護関係相談

〈相談概要〉

内訳	相談延べ数	新規	継続
高齢者虐待	331	51	280
セルフネグレクト	60	0	60
判断能力を欠く状況にある人への支援	1109	27	1082
成年後見制度利用促進	32	1	31
消費者被害	10	3	7
困難事例	1	0	1
その他	4	0	4
合計	1547	82	1465

（イ）　ケース会議、研修会等の開催、参加

虐待個別ケース会議開催……32 回　　権利擁護ケース会議開催…8 回

他機関主催研修会参加回数…10 回

（ウ）　ケース会議以外の研修会・会議等の開催・参加状況

時期	内容等
12 月 17 日	(事業名)介護支援専門員連絡会 (内容)高齢者虐待について (対象者)介護支援専門員 (オンライン・会場参加の研修)

エ　包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

（ア）　日常的相談支援

相談経路	相談受付延べ数
ケアマネからの相談数	416
サービス事業者からの相談数	270

（イ）　研修会等の開催　　実施回数…2　/　参加人数…59

〔主な実施事項〕

時期	内容等
6 月 18 日	(事業名)介護支援専門員連絡会議 (目　的)地域の介護支援専門員同士のネットワークが図れて、情報交換ができる。 (内　容)令和 3 年度介護報酬改正について 市高齢介護係から改正点について説明してもらう。 (場　所)大曲市民センター(31人参加)
12 月 17 日	(事業名)介護支援専門員連絡会議 (目　的)権利擁護事業の理解が深まる (内　容)高齢者虐待について 東部包括　加来社福士が講師 (場　所)オンラインと老人福祉センター会場(28 人参加)

オ　在宅医療・介護連携支援事業

（ア）　在宅医療・介護連携に関する相談、研修会等

会議等参加回数…5 回　相談等実施回数…61 回

〔会議内訳〕　・ＩＣＴ部会

〔主な相談内容〕　・退院へ向けての介入相談　・サービス調整相談

・介護認定やケアマネジャー有無の問い合わせなど

カ　認知症総合支援事業

（ア）　認知症初期集中支援推進事業に関する業務

実態把握訪問数	新規	延べ数
	9	44

チーム員としての訪問数	実人数	延べ数
	0	0

（イ）　各種認知症事業の開催…令和 3 年度は行政が事務局となり運営

■認知症サポーター養成講座

・認知症を正しく理解し、認知症の人や家族が暮らしやすい地域をつくるために、担当地域の市民や学校、各種団体等を対象に 7 回実施した。

・対象者等　市内ファミリーマート職員、赤井南小 3 年生、矢本東小 3 年生、市民向け(2 回)、東松島市役所、東松島市みらい都市機構(ＨＯＰＥ)

■認知症カフェ(7 回開催)

・認知症の人とその家族を支える地域の繋がりを支援するため,市・中部・西部地域包括支援センターと共同で開催。赤井地区で開催されている認知症カフェに参加した。

時期	内容等	会場	参加人数
5 月 13 日	「お薬のこと、聞いてみよう！」 講師：わかば薬局　榑林氏	野蒜市民センター	15 人
6 月 10 日	終活とは～いきいき人生の秘訣～ 講師：行政書士・ビジネスコーディネーター伊藤桂子氏	野蒜市民センター	17 人
10 月 14 日	認知症について学びましょう 講師：高橋かおる氏	野蒜市民センター	15 人

11 月 4 日	「福祉用具にふれてみよう！」 講師：株式会社フロンティア　秦祐介氏	矢本東市民センター	13 人
12 月 9 日	「ちょいもれ予防セルフケア」 講師：株式会社クララケアサポート 館亜美先生	矢本東市民センター	14 人
12 月 12 日	12 月そよかぜカフェ	赤井市民センター	27 人
1 月 6 日	「みんなで楽しもう！オカリナ演奏」 講師：オカリナ奏者　成沢孝志氏	矢本東市民センター	30 人

■認知症介護家族の情報交換会(5 回開催)

・認知症介護家族の孤立防止や介護負担の軽減を目指すため開催した。

〔開催場所〕東松島市老人福祉センター

時期	参加者(人)	
	介護家族	認知症当事者
5 月 17 日	5	1
7 月 12 日	6	0
11 月 15 日	5	0
1 月 17 日	4	0
3 月 16 日	5	0

■その他(研修会・会議参加等)

・認知症地域支援推進員普及活動出前講座受講促進説明と地域包括支援センターの周知のため、赤井・大曲地区の百歳体操を訪問した(15カ所)。また、チームオレンジの立ち上げ、部会への参加を行った。

・認知症地域支援推進員普及活動出前講座受講促進説明、包括周知

・チームオレンジ部会、キャラバン・メイト協議会役員会、認知症初期集中支援チーム員研修会、東松島市認知症ケア連携会議、認知症地域支援推進員情報交換会、認知症サポーター養成講座事前打ち合わせ、認知症介護家族の情報交換会事前打ち合わせ、認知症地域支援推進員活動事前打ち合わせ会議や研修会開催の企画・実施に努めた。

キ　地域ケア会議の実施

■個別地域ケア会議　27 回(ケース数 22)

■地域課題検討を目的とする地域ケア会議　11 回(第三層の再掲)

ク　多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

・令和 3 年度は七十七銀行と連携し、出前相談会を実施した。月 1 回市との定例会を開催した。

会議開催回数…6 回　　会議等参加回数…41 回

七十七銀行出前相談会、打ち合わせ　/　市との定例会

公営住宅サポート会議　/　東松島市自死対策地域連絡協議会

福祉なんでも相談ネットワーク会議　/　多機関ネットワーク会議

障害と包括との勉強会の打ち合わせ　/　カラダ応援企画打ち合わせ

各地域密着型運営推進会議

■関係機関との情報共有、意見交換の実施

・令和 3 年度から 3 包括になり、各地域包括支援センターとの緊密な連携を図る観点から、職種ごとの意見交換会を実施した(社会福祉士 1 回、保健師・看護師 1 回、主任介護支援専門員 7 回)。　主催回数…10 回　　参加回数…4 回

■地域関係者等との情報共有の実施
・民児協への参加回数…11 回

(2)介護予防支援事業
①介護予防ケアマネジメント
介護予防ケアマネジメント業務(新しい介護予防・日常生活支援総合事業)(再掲)

	給付管理数	新規(直営)	継続(直営)	新規(委託)	継続(委託)
事業対象者	49	1	16	0	32
訪問型サービスC	0	0	0	0	0
要支援 1	507	3	159	3	342
要支援 2	191	0	62	4	125
合計	747	4	237	7	499

②指定介護予防支援

	給付管理数	新規(直営)	継続(直営)	新規(委託)	継続(委託)
要支援 1	399	5	138	3	253
要支援 2	682	8	194	7	473
合計	1081	13	332	10	726

(3)その他
一般介護予防事業(相談会・出前講座の実施)
①介護予防普及啓発事業
■介護予防事業
・地域のお茶会やサロン等に出向いて講話を行い、介護予防の普及啓発、介護保険制度の理解に努めた(いきいき楽習塾、こころと体に得するお話し)。

■カラダ応援企画
・意欲低下等により閉じこもりがちな方、地域のサロン活動等への参加が定着しない方、活動場所や居場所がない方など 65 歳以上の男性高齢者を対象とし、介護予防、認知症予防になることを目的に実施した。
・活動場所まで自力で来ることが困難（意欲、身体状況、経済状況など理由）な方もおり、送迎が課題となっている。

時期	内容等	参加人数
6 月 24 日	(内容)ポールウォーキング (講師)社協地域福祉課 サロン活動専門員　小野尚子、新田あつ子 (場所)鷹来の森運動公園	13 人
10 月 19 日	(内容)軽運動 (講師)市役所生涯学習課スポーツ振興係　石垣竜太氏、鹿野氏 (場所)赤井地区体育館	5 人

②地域介護予防活動支援業務
・百歳体操への訪問は認知症事業で行っているものの、ＰＲのみで実態把握には課題が残った。物覚え健康教室(中部包括主催)は新型コロナの影響で全日程中止となった。

資料編

１　評議員及び役員等名簿

・評議員

・役員

・評議員選任・解任委員

・苦情解決第三者委員

２　組織図

事務局体制図

３　生活体制整備事業の取組み

４　相談支援事例

・多機関の協働による包括的な支援体制構築事業

・生活困窮者自立促進支援事業

・地域包括支援センター

５　生活福祉資金(緊急小口資金・総合支援資金)特例貸付(相談)の推移

社会福祉法人　東松島市社会福祉協議会

評　議　員　名　簿

（任期：令和３年６月２４日～令和６年度会計に関する定時評議員会終結の時まで）

No.	氏　名	選出区分（主な経歴）
1	田尻　清志	社会福祉事業を経営する団体の役職員（社会福祉法人やすらぎ会常務理事）
2	橘川　博美	ボランティア活動を行う団体の代表者（保育ボランティア）
3	木村　敏子	社会福祉事業に学識経験を有する者（元宮城県立石巻養護学校教諭）
4	鹿野あい子	社会福祉事業に学識経験を有する者（教育委員）
5	齋藤　　智	社会福祉事業に学識経験を有する者（弁護士）
6	齋藤あや子	地域の福祉関係者（民生委員児童委員協議会副会長）
7	後藤　隆善	地域の福祉関係者（民生委員児童委員協議会副会長）
8	大山　金雄	地域の福祉関係者（老人クラブ連合会会長）
9	加藤　一枝	地域の福祉関係者（身体障害者福祉協会会長）
10	鈴木　敏正	地域の代表（元大曲まちづくり協議会会長）
11	櫻井　清一	地域の代表（大塩自治協議会会長）
12	渡邊　克己	地域の代表（野蒜まちづくり協議会会長）
13	佐藤　康男	地域の代表（元宮戸コミュニティ推進協議会会長）
14	菅井　賢治	地域の代表（矢本西コミュニティ協議会会長）
15	小野　竹一	地域の代表（あおい地区会会長）
16	佐々木寿晴	関係行政機関の職員（保健福祉部長兼社会福祉事務所長）
17	引間世枝美	社会福祉事業の円滑な遂行が期待できる者（一般社団法人東松島みらいとし機構理事）
18	橋本　孝一	社会福祉事業の円滑な遂行が期待できる者（東松島市商工会会長） ※令和３年１１月２９日～
	阿部　守雄	社会福祉事業を経営する団体の役職員（医療法人医徳会法人本部事務局長） ※令和３年８月３１日退任

社会福祉法人　東松島市社会福祉協議会

役　員　名　簿

◎ 会　　長 ： 阿　部　英　一

○ 副 会 長 ： 千　葉　春　雄　　片　岡　健　治

○ 顧　　問 ： 佐々木　　章　　海　道　　義

（任期：令和３年６月２４日～令和４年度会計に関する定時評議員会終結の時まで）

理　事

No.	氏　名	選出区分（主な経歴）
1	伊藤壽美子	社会福祉事業を経営する団体の役職員（NPO 法人のんびーりすみちゃんの家代表）
2	佐々木忠男	社会福祉事業を経営する団体の役職員（有限会社東松島ケアサポート代表取締役）
3	菊池　昌三	社会福祉事業を経営する団体の役職員（社会福祉法人矢本愛育会理事長）
4	土井　悦子	ボランティア活動を行う団体の代表者（東松島市レクリェーション協会会長）
5	佐藤　節子	ボランティア活動を行う団体の代表者（東松島市福寿草福祉会会長）
6	佐藤まき子	ボランティア活動を行う団体の代表者（人形劇保育ボランティア「サンサンサン」代表）
7	上田　　勉	社会福祉事業に学識経験を有する者（元市議会議員（民生教育常任委員長））
8	阿部　英一	社会福祉事業に学識経験を有する者（社協常務理事兼事務局長、元総務部長）
9	奥田　俊郎	社会福祉事業に学識経験を有する者（元保健福祉部長）
10	斎藤　洋子	社会福祉事業に学識経験を有する者（元社会福祉法人やすらぎ会ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑやすらぎ管理者）
11	千葉　春雄	地域の福祉関係者（民生委員児童委員協議会会長）
12	片岡　健治	地域の代表（新道町内会自治会長）
13	斎藤　英彦	地域の代表（赤井地区自治協議会会長）
14	高橋　義則	関係行政機関の職員（総務部長）
15	佐々木松子	社会福祉事業の円滑な遂行が期待できる者（人権擁護委員）

監　事

No.	氏　名	選出区分（主な経歴）
1	大江　賢良	社会福祉事業について識見を有する者（元会計管理者）
2	加藤　文吉	社会福祉事業について識見を有する者（元会計班長）
3	泉田　公司	財務管理について見識を有する者（元石巻信用金庫常勤理事）

社会福祉法人　東松島市社会福祉協議会評議員選任・解任委員

（任期：令和３年６月２４日～令和６年度会計に関する定時評議員会終結の時まで）

No.	氏　　名	選出区分
1	大沼　雄吉	外部委員
2	川田　正人	外部委員
3	黒須　壽幸	外部委員
4	大江　賢良	監事
5	千葉　貴弘	事務局員

社会福祉法人　東松島市社会福祉協議会苦情解決第三者委員

（任期：令和３年４月１日～令和５年３月３１日まで）

No.	氏　　名
1	尾形　博己
2	齋藤あや子
3	内海　牧子

【東松島市社協組織図】

令和4年3月31日現在

- 評議員会（18 人）
- 理 事 会（15人）
- 監　事（ 3人）
- 会　長
  - 事務局長
    - 事務局次長
      - 総務課
        - 総務係
          - ・法人運営（理事会・評議員会等）　・共同募金委員会
            ・財務　・人事管理等の組織管理　・老人福祉センター管理
            ・福祉団体事務支援（4団体）　ほか
        - 居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）
          - ・介護に関わる相談援助
            ・要介護認定申請の手続き代行
            ・ケアプラン（居宅介護サービス計画）の作成　ほか
        - 訪問介護事業所（ホームヘルパー）
          - ・ホームヘルパー（介護保険）
            ・ホームヘルパー（障害福祉）
            ・ホームヘルパー（自費サービス「ほっとサービス）
            ・ホームヘルパー（産前産後）
        - 福祉総合相談支援係
          - 相談支援包括化推進員
            - ・複合的な課題を抱える相談者等に対する支援の実施
              ・地域における相談支援機関等との連携体制の構築
              ・新たな社会資源の創出　ほか
            - 東松島市くらし安心サポートセンター
              - ・生活困窮者自立相談支援・家計改善・就労準備支援
                ・生活相談　全般
                ・生活安定資金、生活福祉資金等貸付に関すること ほか
            - 東松島市東部地域包括支援センター（介護予防支援事業所）
              - ・高齢者の総合相談支援
                ・虐待の早期発見・防止などの権利擁護
                ・包括的・継続的ケアマネジメント支援
                ・介護予防ケアマネジメント
                ・認知症対策事業　ほか
      - 地域福祉課
        - 地域福祉推進係
          - ・東松島市地域福祉推進計画の推進
            ・小地域福祉ネットワークづくり
            ・生活支援体制整備事業　・地域介護予防事業
            ・ふれあいサロン活動推進事業、シルバーメイト地域見守り支援事業
            ・民生委員児童委員協議会の事務支援　ほか
        - ボランティア市民活動センター
          - ・ボランティアとボランティアを必要とする人の受付、調整・紹介
            ・ボランティア保険加入手続き
            ・ひがまつ安心サポート事業（有償たすけあいサービス）
            ・災害ボランティアセンターの運営　ほか
        - 社協生活復興支援センター
          - ・被災した市民の心身のケア及び生きがいづくり
            ・被災した市民の総合的な相談、課題解決支援
            ・被災した地域コミュニティの機能回復及び新たなコミュニティづくりの支援　ほか

- 支部（70自治会）
- 会　員

令和４年３月３１日現在

令和3年度　東松島市社会福祉協議会　事務局体制図

事務所
- 老人福祉センター内(小松字上浮足252-3)　☎代表83－2851
- 被災者サポートセンター内(矢本字大溜9-1)　☎代表83－5001
- 介護(障害)福祉サービス事業所(矢本字大溜9-1)　☎25-4312、83-2904

理事　15人
監事　　3人
評議員18人

会　長
阿部　英一＊

副会長
①千葉 春雄＊
②片岡 健治＊

監 事
大江　賢良
加藤　文吉
泉田　公司

事務局
【局長】　**阿部　誠**
（社福士、ヘルパー）
【次長】　**千葉貴弘**
（社福主事、介専、介福士）

常勤役員　1人
正　規　15人(うち兼務３人)
非正規　24人(うち兼務１人)

総務課
*【課長】　**阿部誠***
（社福士、ヘルパー）

総務係
【係長】　**木村友子**（ヘルパー）
- 【主査】　**杉山瞳**（社福主事）
- 【主事】　**西條貴宣**（社福主事）
- 【事務員】佐藤誠子
  阿部京子
  高橋功/短
- 【技能員】　手代木武一郎/短

東松島市老人福祉センター　【指定管理業務受託】
【所長】　*(兼) 木村友子*
【機能回復訓練・看護職員/短】　遠藤郁子（看護師）
【機能回復訓練・介助員/短】　*(兼) 佐々木せい子*

居宅介護支援事業所　☎25-4312(直通)
【管理者】　**渡辺和佳子**（主任介専、介福士）
【介護支援専門員】　**矢代裕子**（介専、介福士）
坂本明美（介専、介福士、福住Co）
土居恵美子（介専、介福士、准看護師）
【事務員】　加藤栄子

訪問介護支援事業所【介護保険･障害福祉】　☎83-2904(直通)
【管理者(介護)兼サービス提供責任者(介護・障害）】
平野ゆり子（介福士）
【管理者（障害）】　*(兼) 平野ゆり子*
【サービス提供責任者(介護・障害)】鹿又由美子（介福士、ヘルパー）
【訪問介護員/短】
（介福士）　成沢さと子、樋口潤子、三浦幸枝、奥津信子、日野奈巳
（ヘルパー）木村智子、石垣久子、尾形とし子
日野美佐子、佐々木せい子、寺崎妙子、高橋朱美

福祉総合相談支援係
【係長】　*(兼)木村友子*

【相談支援包括化推進員】
木村佳美
（社福士、主任介専、介福士）
☎98-6925(直通)

【生活困窮者自立相談支援業務受託】

東松島市くらし安心サポートセンター　☎98-6925(直通)
【所長・主任相談支援員】　**及川貴之**（社福主事）
【相談支援員 】**櫻田千里**（社福士、保育士）**宮田真衣**（社福士）
浅野恵美（社福士、保育士）
【生活福祉資金相談員 】富沢久美子

【地域包括支援センター事業受託】

東松島市東部地域包括支援センター（介護予防支援事業所）　☎83-1966(直通)
【所長・予防管理者・主任介専】
高田欽弥(主任介専、社福士、介福士)
【社福市】
加来草子（社福士、介専、介福士）
【看護師】
今泉ひろみ(看護師)
【社福士】
山根紗貴（社福士、社福主事、児童指導員）

地域福祉課
【課長】　(兼) 千葉貴弘

【支え合い復興統括管理者】
(兼)渥美敏範

地域福祉推進係
【係長】　**阿部和子**
- 【生活支援コーディネーター/CSW】　**【生活支援体制整備事業受託】**
  - **眞籠孝史**（社福士、介専、介福士、福住Co）
  - 本田栄子（保健師）
  - 渡辺英人（社福士、社福主事、ヘルパー）
- 【サロン活動専門員】　**【地域介護予防事業受託】**
  - 小野尚子/短（介福士、ヘルパー）
  - 新田あつ子/短（ヘルパー）
- 【事務員】菊地京子

ボランティア・市民活動センター　☎83-2717(直通)
【所　長】　*(兼) 千葉貴弘*
【ボランティア・コーディネーター】金須　健（社福主事）

社協・生活復興支援センター　**【被災者サポートセンター運営業務受託】**
【所長】*(兼) 千葉貴弘*
【生活復興統括管理者】渥美敏範/短(社会教育主事、保護司)
【主任生活支援相談員(主任ＬＳＡ)】　尾形京子（介福士）
【生活支援相談員（ＬＳＡ）】
相澤七奈(ケアストレスカウンセラー)、千葉清美、齋藤和香、遠藤雅子/短（ヘルパー）

常勤役員	1人		
正規職員	18人	正　規	3人(うち兼務１人)
非正規職員	35人	非正規	11人(うち兼務1人)
合計	54人		
（非正規職員率　64%）			

【資格別】	総数(正規職員)
社会福祉士(社福士)	10人(8人)
社会福祉主事(社福主事)	7人(5人)
主任介護支援専門員(主任介専)	3人(3人)
介護支援専門員(介専)	6人(4人)
介護福祉士(介福士)	18人(8人)
ヘルパー	14人(2人)
保健師	1人(0人)
看護師(准看含む)	3人(1人)
福祉住環境コーディネーター(福住Co)	2人(1人)
保育士	2人(1人)
ケアストレスカウンセラー	1人(0人)
保護司	1人(0人)
ボランティア・コーディネーター(Vco)	1人(0人)
児童指導員	1人(1人)
社会教育主事	1人(0人)

東松島市地域支え合い推進会議体制（生活支援体制整備事業）について

2022.3.31現在

2025年(令和7年)までに「地域包括ケアシステム」を構築するため、本事業は、介護保険法第115条の45第2項第5号に基づき、単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療、介護のサービス提供のみならず、NPO法人、民間企業、協同組合、ボランティア、社会福祉法人、社会福祉協議会、地縁組織、介護サービス事業所、シルバー人材センター、老人クラブ、商工会、民生委員等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、「多様な日常生活上の支援体制の充実・強化」、「高齢者の社会参加の推進」を一体的に図っていくことを目的としています。

東松島市では、この事業を推進するため、第１層協議体/東松島市地域支え合い推進会議、第２層協議体、第３層協議体/小地域（自治会）の各協議体体制を整備し、定期的な情報共有や連携強化、生活支援ニーズに対応した地域活動支援に取り組むべく、関係者が一緒にアイディアを出し合って具体的な支援策を検討する等、各協議体が互いに連携し介護予防や生活支援支援の仕組みづくりへの重層的な役割を担う事を目的としています。

＜第1層協議体の構成＞

有識者、各まちづくり協議会、介護サービス事業者
地域福祉団体(民生委員、老人クラブ)、商工会
ボランティア団体、行政(市民協働課)

＜第2層協議体の構成＞

自治会役員、介護サービス事業者、ボランティア団体
地域福祉団体(民生委員、サロン関係者)、集落支援員等

＜第3層協議体の構成＞

自治会役員、介護サービス事業者、ボランティア団体
地域福祉団体(民生委員、サロン関係者)、集落支援員等

地域支え合い推進委員会

■機能
・市全域における各取組み内容の情報共有
・市全域に係る生活支援サービス等の創出、担い手養成
・市全域に係る生活課題の解決に向けた取り組み調整
・保健福祉分野におけるまちづくり事業の提案　等

■抽出された地域課題(例)
・支援が必要な高齢者に対する生活支援
・地域情報やアセスメントの不足
・移動や買い物支援に対する住民ニーズの把握
・地域支え合いの普及啓発、自治会との連携　等

赤井　**大曲**　**矢本東**　**矢本西**　**大塩**　**小野**　**野蒜**　**宮戸**

■機能
・地域内における各取組み内容の情報共有
・地域内事業者、ボランティア団体への働きかけ、連携
・生活支援サービス等の創出、担い手養成に係る検討
・生活課題の掘り起こし、解決に向けた取組調整　等

■第2層協議体の取組み(赤井の例)
・第2層協議体会議(毎月開催)
・自治会との情報交換会(年15回、172人参加)
・生活支援ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ養成研修会参加(5人参加)

設置済/赤井・大曲・矢本東・矢本西・大塩・野蒜、
設置準備/小野、**未設置**/宮戸

上区自治会　**中区**　**下区**　**南西地区**　**外6**

■生活支援ニーズに対応した地域活動
交流・居場所・・・サロン、会食、茶話会、体操、健康づくり
生活支援・・・趣味、買い物、外出支援、庭仕事、掃除・洗濯
見守り・・・**地域支え合い会議**、話し相手、相談・情報提供

■小地域における各タイプ群
地域団体直営タイプ(百歳体操、茶話会等)、**自治会直営タイプ**(地域支え合い会議等)、**自治会バックアップタイプ**、**複数自治会連携タイプ**(民生委員の配置状況等による連携した取組み)、地域団体＋第2層協議体連携タイプ

◆関係団体活動状況
・通いの場活動団体数:107団体
　うち週１回以上の活動団体数:68団体
・生活支援団体数（食事の提供等）:14団体
・地域支え合い会議取組み自治会数：22自治会
※詳細は、別資料参照のこと

令和３年度
東松島市生活支援体制整備事業
各協議体取り組み状況について

地域包括ケア推進会議

地域支え合い推進委員会の他在宅医療・介護連携協議会、認知症ケア連携会議等の協議状況を共有し、東松島市の医療福祉サービスの評価や政策形成に関する提案を実施。（市主管会議）

第1層（市全域）

東松島市地域支え合い推進委員会（第１層協議体）

令和３年６月に新規委員委嘱、委員長に東北文化学園大学野﨑瑞樹氏、副委員長に東松島市民生委員児童委員協議会齋藤あや子氏が就任。生活支援体制整備事業と協議体をテーマに、宮城県地域支え合いアドバイザー派遣を利用し、研修会を開催した。また、地域活動の啓発に向けてワーキンググループを設置し、支え合いの啓発について協議した。

第2層（まちづくり協議会圏域）

赤井はひとつおせっ会（第２層協議体）

地域活動の情報交換会の他、メンバーと保健福祉部会の情報交換会や、まちづくり協議会と連携し、地域支え合い活動の紹介する事例集を作成し住民へ啓発した。
開催頻度
1～2ヶ月に１回程度

大曲安心づくり事業部（第２層協議体）

各自治会の支え合い活動に関する情報共有の他、フードドライブの取り組み状況について情報共有。また、高齢者の実態を把握するためのアンケート調査を検討しており、調査に関する研修などを実施した。
開催頻度　毎月

矢本西地域協議体（第２層協議体）

今年度設置、民生委員、サロン世話人等、地域で支え合い活動を実践している方々が参加し、地域で実践している活動や考えについて情報共有した。
開催頻度
３ヶ月に１回程度

宮戸地域（第２層協議体）

既存の地域会議体での協議を、現在まちづくり協議会と相談中。

矢本東地域協議体（第２層協議体）

今年度設置、自治会長や民生委員、サロン世話人等、地域で支え合い活動を実践している方々が参加し地域活動について情報共有した。
開催頻度
３ヶ月に１回程度

大塩地域協議体（第２層協議体）

自治会役員やサロン活動運営者、民生委員等と地域活動について情報交換をおこなった他、今年度大塩地域で市内事業所のHarappaと連携し、移動販売を実施。移動販売の状況等について共有した。
開催頻度
３ヶ月に１回程度

野蒜地域協議体（第２層協議体）

自治会長や地域福祉活動実践者で活動の情報共有を実施。また、他地域協議体との交流会を実施。
開催頻度
年３回程度

小野地域協議体（第２層協議体）

メンバー選定を行い今年度中に設置予定。エリアでは、高校の生徒と地域の通いの場を調整し、高齢者の社会参加のきっかけづくりを実施。

第3層（自治会圏域）

地域支え合い会議（第３層）

令和３年度については、第２層よりもより、もっと身近な圏域で地域生活課題を共有する場として、各エリアの地域包括支援センターと連携しながら、地域課題の共有、地域での資源作りを目的に、自治会単位での地域支え合い会議を開催。今年度新たに12カ所の自治会圏域で開催が始まり、現在22自治会で定期的に開催。

多機関協働事業による支援事例

事例

・制度の狭間で必要な支援が利用できない方への支援
・60 歳、男性、無職、一人暮らし。

相談経緯と課題

・市保健師より相談つながれた。
・医療受診や生活支援が必要だが、介護保険にも障害福祉制度にも該当しないので、支援として公的サービスが利用できない状況にあり困っている。
・本人の状況は、自宅ベッドで寝たきりで食事も自分では用意できない、トイレにも行けない状態にある。意欲低下もみられる。

【課題】
・体調悪化　・自分で動けないので食事が用意できない。
・トイレまで行けない。　・入浴できない。

支援の実施

①多機関連携で実施した対応

・市保健師、障害者相談支援事業所、くらし安心サポートセンター、社会福祉法人連絡会、社協 CSW 等と対応について検討した。

市保健師　本人、親戚と相談し医療受診につなぎ、入院となった。
障害者相談支援事業所　専門医受診につなぎ、自立支援医療制度申請支援をした。
くらし安心　生活保護申請支援を行った。
社会福祉法人連絡会　入浴支援を行った。
社協 CSW　地域のサロンボランティアと民生委員と連携し、地域住民による弁当配食（月 1 回、1 食 300 円）の支援につないだ。

②東松島市社会福祉法人連絡会で実施した支援

・多機関と連携するなかで、東松島市社会福祉法人連絡会でも退院後の本人支援として困難事例検討会議を 2 回開催し、各法人からできる支援を提案してもらった。そのことにより各法人施設の浴室を提供頂き、施設を巡回して入浴支援サービスを実施することにつながり、施設までの送迎は社協が担当した。
・また、法人間で支援情報の共有をスムーズに行うため、オンライン会議やチャットツール「ChatWork」を活用して情報共有と引継ぎを実施した。

●東松島市社会福祉法人連絡会の支援の様子

くらし安心サポートセンターによる支援事例

事例

・20 年以上、車上生活をしていた方への支援
・67 歳、男性、スーパーでパート勤務、車上生活

相談経緯と課題

・議員と共に生活保護係へ相談。その後、当センターへ繋がれた。
・元々は長男夫婦・孫と４人で暮らしていたが、長男夫婦との考え方の違いから家を出た。その後知人の敷地を借り、約２０年以上、車上生活をしていた。
・今回、車両の補修箇所が多く、多額の費用が掛かるため車検が受けれない状況となった。その為、車上生活を継続することが困難となった（車検を 18 年間受けてない状態で、自動車税滞納により車検証も失効となっていた)。
・アパートを契約するにも保証人や初期投資を補うことが難しい。
・知人は居るが、親族とは疎遠となっており頼る事が出来ない。
・年金の手続きをしておらず、未受給であった。
・スーパーでパートをしており、月約１２万の収入がある。

支援の実施

・市内の不動産の情報提供→住居の確保を行った。
・連携している市内の業者へ連絡し、家具等の支援を受けた。
・年金事務所へ同行し、年金受給の手続きを行った。
・家計相談を実施し、税金の滞納分の支払いについて、収納対策課へ同行し相談。年金遡及分で滞納分の半額は納付し、残額については分割で支払っていく事となった。

【支援を通じて見えてきた課題】
・知人や親戚と疎遠で孤立しており、保証人を含めた緊急連絡先がいない方の居住確保→亡くなった場合の部屋の荷物や清掃について。
・今日住む場所もない、という相談者が来所された時に、とりあえず一時的に泊まる事ができるような施設がない。
・出所者など、住宅確保要配慮者への居住支援（近隣トラブルや風評リスクなど)。
・連携している不動産屋に偏った支援が多い。

地域包括支援センターによる支援事例

事例

・87 歳、女性、要支援１。58 歳、四男と二人暮らし。

相談経緯と課題

・くらし安心 SC で四男の相談対応していた。
・同居の本人が気になるとのことで包括で実態把握。本人には作話・幻覚症状みられた。
・家事を担っていた四男は体調が思わしくない。本人の支援ができない、早急に食事確保が必要な状況。
・数か月前まで市内他地域の借家から、取り壊しのため立ち退きを求められ移住。転居後から本人に幻覚症状が出始める。
・四男の体調の悪化も重なるなど、複数の課題があった事例。

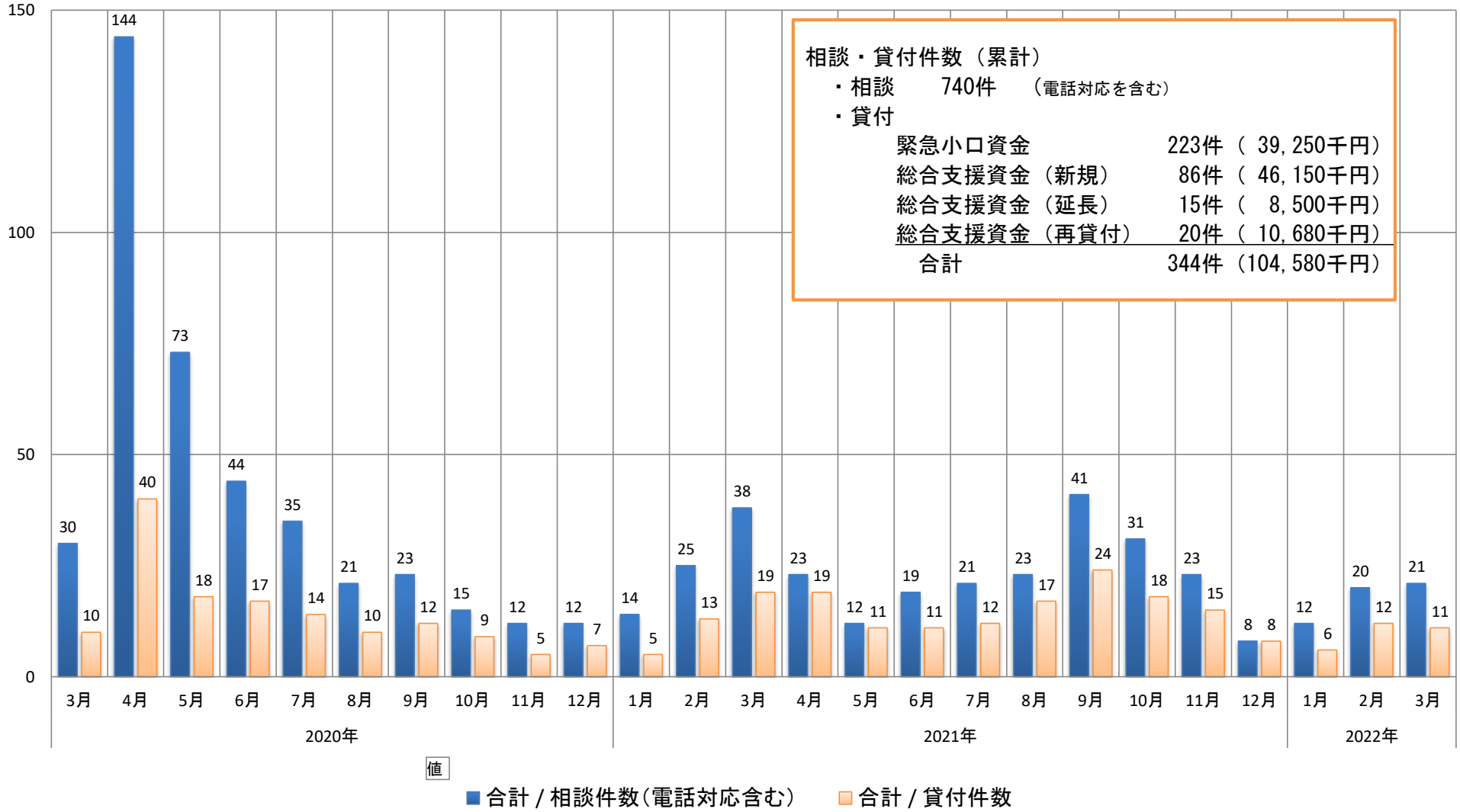
【課題】
・本人の幻覚症状への対応、四男の受診支援
・世帯の経済的困窮への対応、ほか

支援の実施

・くらし安心 SC へフードバンクの相談→一時的な食糧確保。その後宅配弁当へ移行。
・介護認定申請→居宅ケアマネからヘルパーなどの支援調整。
・四男（65 歳未満）の対応→市健康推進課へ対応依頼。
・四男の病院移送。経済的に支払困難、対応できる親族不在→社協。
・地域での見守り→自治会、民生委員との情報共有。
・経済的困窮→くらし安心から市生活保護へ相談。
・四男入院、他界後も本人の幻覚は継続。「誰かがいる、来てほしい」と警察へ何度も通報したり、徘徊し警察から保護されたりすることがあった。
・包括では、地域ケア会議の開催（振り返り含め 3 回）、ケアマネのサービス担当者会議同行、本人の専門医受診同行など対応した。
・また、四男他界後に判明した債務や四男保有の自家用車の処分などで弁護士へ相談したり、本人の金銭管理能力から、まもりーぶの契約支援を行った。
・本人希望により施設を探し、石巻市の高齢者宿泊施設へ入所となった。

合計 / 相談件数(電話対応含む) 合計 / 貸付件数

生活福祉資金(緊急小口資金・総合支援資金)特例貸付(相談)の推移
(令和2年3月25日～令和4年3月31日現在)



相談・貸付件数（累計）

- 相談　740件　（電話対応を含む）
- 貸付

緊急小口資金	223件	（ 39,250千円）
総合支援資金（新規）	86件	（ 46,150千円）
総合支援資金（延長）	15件	（ 8,500千円）
総合支援資金（再貸付）	20件	（ 10,680千円）
合計	344件	（104,580千円）

年　日 付

事業報告の附属明細書

令和３年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人東松島市社会福祉協議会

令和３年度　事業報告書

令和４年５月　発行

社会福祉法人　東松島市社会福祉協議会

〒981-0504　宮城県東松島市小松字上浮足２５２－３

Tel 0225-83-2851 / Fax 0225-83-4561

E-mail higasimatusima@dolphin.ocn.ne.jp

URL　http://www.hmfukushi.jp